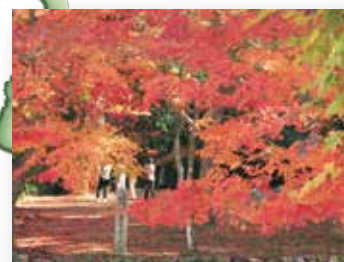


安芸高田市郷土理解学習副読本（小学校編）

安芸高田市ものがたり



安芸高田市教育委員会

刊行のことば

わたしたちの住む「安芸高田市」は、平成16年3月に当時の高田郡6町が合併して誕生しました。みなさんの郷土となる安芸高田市は、緑なす山、清らかな川、日本100名城の「郡山城」、国の重要無形民俗文化財の「安芸のはやし田」、伝統を継承している神楽など、豊かな自然と歴史、文化に恵まれています。こうした郷土で育った多くの先輩たちは、知恵と勇気を持ち、協力しながら、夢と志を持ち、地域を守り発展させてきました。しかし、今日では、人口の減少など様々な課題があるのも事実です。“地域の宝”であるみなさんには、地域の課題もしっかり受け止めながら、このすばらしい伝統や文化を学び、引き継ぎ、守り育てる大人に成長してほしいと思います。

安芸高田市教育委員会では、この度、「ふるさと安芸高田市」について学び、郷土に対する自信と誇りを持ち、それぞれの舞台で活躍してほしいとの願いから、郷土理解学習副読本「安芸高田市ものがたり」を発刊しました。

みなさんが生活している「ふるさと安芸高田市」に関心を持ち、「なぜ」「どうして」という探究する気持ちを大切にして、安芸高田市の歴史・文化、そして今の暮らしを学ぶことが、安芸高田市をはじめ、国の歴史や伝統・文化を深く理解することにつながります。そして、安芸高田市のまちづくりや歴史・伝統・文化は、日本の他の地域や諸外国とも深くかかわっていることを理解し、諸外国の歴史や伝統・文化を尊重し、ともに歩んでいける力を身に付けてほしいと思います。

このことが、例えば将来みなさんがどこに住むことになっても、みなさんが活躍し、生活するベース(土台)が“郷土 安芸高田市”として、みなさんの心の基地(マインドベース)になると確信しています。

この副読本を様々な学習場面で、しっかり活用し、安芸高田市について理解を深めるとともに、調べ方や学び方を身に付けていきましょう。その力は、みなさんの夢や目標に向けて挑戦し、学び、成長していくうえで、必ず役立つものになるはずです。

平成27年3月

安芸高田市教育委員会
教育長 永井 初男

人がつながる田園都市 安芸高田

あきたかたし ししやう
＜安芸高田市の市章＞



■市章について

「安芸高田市」の「高」を凶案化したもので、下部の円は「人々と自然」・「信頼と協働」を意味しています。人々と自然が融和・調和しながら市が円満に発展するようにとの願いを表現したものです。市章全体は人間の姿を思わせるものとし、次代へ躍進する安芸高田市民を表しています。市章のデザインを広く全国から応募し、2,221点の作品の中から「安芸高田市」に最もふさわしい市章が選ばれました。

安芸高田市の花 **紫陽花**

(ユキノシタ科 アジサイ属 原産地：日本)



たくさんの花弁が集まり1つの花を構成する姿を、6町が合併した安芸高田市の姿に置き換えて「市の発展を願う」とされた推薦理由もあり、「新生 安芸高田市」をよく表現しています。

平成19年10月12日制定

あきたかたし さくら
安芸高田市の木 **桜**

(バラ科 サクラ属 原産地：日本)



土師ダム湖畔の桜をはじめ、市内各地に名所があり、古くから多くの市民に親しまれ大事にされています。

卒業や入学など人生の大きな節目の時期に咲き、多くの人々の心を惹きつけています。周辺を緑の山々に囲まれる安芸高田市では、樹木の間には咲くヤマザクラも訪れる人々の目を楽しませてくれています。 平成19年10月12日制定

しみんけんしょう 安芸高田市民憲章

(平成 25 年 11 月 27 日制定)

(前文) わたしたちは、安芸高田市民であることに誇りと責任を持ち、
市創設の基本理念である「人 輝く・安芸高田」の実現をめざ
してこの憲章を定めます。

(条文) わたしたち安芸高田市民は、

- 一、 歴史・文化・自然を大切にし、未来へつないでいきます。
- 一、 先人を尊(たつと)び心豊かな人間形成をめざします。
- 一、 「三矢の訓(おしえ)」で心をひとつに「協働のまちづくり」
にはげみます。
- 一、 誰もが健康で、きれいな住みやすいまちをつくります。
- 一、 笑顔あふれ、安心安全に暮らせるまちにします。

安芸高田市は、平成16年3月に誕生しました。平成25年12月1日には、市制
施行10年目を迎え、10周年記念式典が行われました。

豊かな自然と文化が受け継がれてきた安芸高田市です。「人 輝く・安芸
高田」を将来像に掲げています。市民が自らの安芸高田市の理想を掲げ、そ
の実現に向けて努力するための行動規範となる市民憲章が制定されました。
これは、中学生以上の市民の応募から決定されました。

一人一人が輝き、安芸高田市民であることに誇りと
責任をもち、自らの夢と希望に向かって挑戦し続ける
ことができるまちづくりを行っています。



安芸高田市民憲章石碑

もくじ

第1章 わたしたちのまち「安芸高田」

- 1 誕生！「安芸高田市」 1
- 2 安芸高田市の土地のようす 2
- 3 安芸高田市の交通のようす 3
- 4 安芸高田市の自然 4

第2章 産業のようす

- 1 安芸高田市の農業 10
 - (1) 安芸高田市の野菜づくり 10
 - (2) 安芸高田市の米づくり 12
 - (3) 安芸高田市の果物づくり 13
 - (4) 安芸高田市の畜産 13
 - 2 安芸高田市の工業 14
 - (1) 安芸高田市の自動車関連工場 16
 - (2) 世界とつながる安芸高田市の工場 18
 - (3) こだわりを大切にしている地元の工場 19
 - (4) 安芸高田市の伝統工芸 21
 - 3 安芸高田市の商業 22
 - (1) 暮らしの中のお店 22
 - (2) 産直市のようす 24
- *第2章ちょっと復習5問クイズ 26

第3章 人々の暮らしのようす

- 1 健康な暮らしをささえるしくみ 27
 - (1) 水と暮らし 27
 - (2) 土師ダムの建設 31
 - (3) 安芸高田市のごみの処理 33
 - (4) 健康あきたかた2 1 37
- 2 市民のねがいと議会 39
 - (1) 安芸高田市議会と予算 39
- 3 だれもが幸せに共に暮らせるまちづくり 41
 - (1) 市民のねがいと社会福祉 41
 - (2) 高齢化社会への対応 43
- 4 安芸高田市の文化と行事 45
 - (1) 伝えられてきた行事～安芸高田市の春夏秋冬～

第4章 歴史発見！安芸高田

- 1 安芸高田歴史年表 49
- 2 原始・古代の安芸高田 50

- (1) 稲山墳墓 50
 - (2) 甲立古墳 51
 - (3) 安芸高田市の古墳マップ 54
- 3 中世の安芸高田 55
- (1) 安芸高田市の城跡マップ 55
 - (2) 毛利元就の中国地方統一 56
- 4 近世・近代の安芸高田 61
- (1) 安芸高田市の移り変わり 61
 - (2) ダム建設で水没した土師 63
 - (3) 昭和20～30年代のころの子どもの遊び 64
 - (4) 自然災害に見まわれた安芸高田市 65
 - (5) 東京オリンピック聖火ランナー国道54号を走る 66

第5章 郷土の開発・文化の発展

- 1 郷土の開発・文化の発展 67
 - (1) 「土師に水路を拓く」咽声忠左衛門 67
 - (2) 「へら掘りの池」 69
 - (3) 「尾原かづきと論山堤」 70
 - 2 文化の発展につくした人々 71
 - (1) 土生玄碩 71
 - (2) 石橋正国 72
 - (3) 三上義夫 73
 - (4) 和高節二 74
 - (5) 児玉希望 75
- *わかったかな？安芸高田の誇れる人々クイズ 76

第6章 とともに生きる 協働のまち

- 1 自然とともに 77
 - (1) 江の川に親しむ 77
 - (2) 自然に親しむ 78
- 2 伝統とともに 79
 - (1) 知っておきたい「安芸高田神楽」 79
 - (2) 「安芸高田神楽」を生かした取組 80
 - (3) 佐々木順三～安芸高田神楽の父～ 82
- 3 スポーツとともに 83
 - (1) サンフレッチェ広島 83
 - (2) 湧永製薬ハンドボール部「レオリック」 84
- 4 芸術とともに 85
- 5 これからの安芸高田市 87

資料 P88～P95

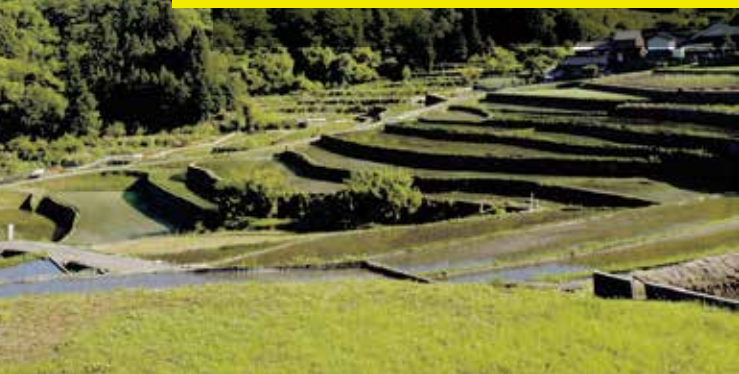
安芸高田市公式マスコット
キャラクター





第1章

わたしたちのまち 「安芸高田」



安芸高田市がどのようにしてできたのか調べよう。また、安芸高田市の土地，交通，自然について学ぼう。



1 たんじょう 誕生！「安芸高田市」

小さな町や村が一緒になって市になることのよさについて考えましょう。



時代	明治	大正	昭和	平成
年	明治2年(1868) 明治4年(1871) 明治5年(1872) 明治6年(1873) 明治7年(1874) 明治8年(1875) 明治11年(1878) 明治25年(1892) 明治27年(1894) 明治29年(1896) 明治32年(1899) 明治37年(1904) 明治38年(1905) 明治40年(1907)	大正元年(1912) 大正2年(1913) 大正3年(1914) 大正4年(1915) 大正12年(1923) 大正14年(1925)	昭和8年(1933) 昭和12年(1937) 昭和16年(1941) 昭和18年(1943) 昭和19年(1944) 昭和20年(1945) 昭和21年(1946) 昭和25年(1951) 昭和26年(1952) 昭和30年(1955) 昭和31年(1956) 昭和35年(1960) 昭和42年(1967) 昭和48年(1973) 昭和54年(1979)	平成4年(1992) 平成14年(2002) 平成16年(2004)
全国の出来事	版籍奉還 廃藩置県 地租改正	日清戦争 郡制開始 日露戦争	第一次世界大戦 関東大震災 普通選挙法成立	サンフランシスコ平和条約
広島・安芸高田の出来事	広島県が大小区制を導入 高田郡は第六大区 高田郡内八か所に「郵便取扱所」をおく(現在の郵便局) 高田郡に「通卒出張所」をおく(現在の警察署) このころより郡内各地に「学舎」がつくられる(現在の小学校)	各村に村会を開設する 各村に住民選挙によって選ばれた戸長をおく 戸長役場が始まる 大小区制の廃止 高田郡役所を吉田村におく 市町村制開始 高田郡は合併により五十九村から二十六村になる 吉田町が始まる 高田郡内初の消防組「吉田町消防組」設立 高田郡内初の産業組合「米原信用販賣購買生産組合」設立 (現在の農協)	「広島東洋カーブ」誕生 秋町が双三郡に移る 栗屋村が双三郡に移る 吉田病院設立 向原町が始まる	高田郡六町合併協議会が始まる 「サンフレッチェ広島」誕生 中国自動車道 三次〜千代田間 開通 白木町が広島市と合併 高田郡は七町から六町になる 高田郡内初の信号灯がつく 八千代町が始まる 白木町が始まる 高宮町が始まる 甲田町が始まる 美土里町が始まる 三江南線 三次〜式敷間 開通

どうして安芸高田市ができたのかな？



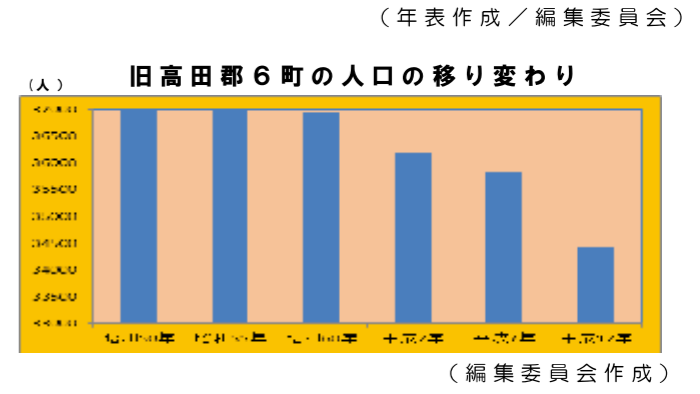
安芸高田市役所とクリスタルアージュ(吉田町)

「安芸高田市」の始まり

安芸高田市はもともと吉田、八千代、美土里、高宮、甲田、向原に白木町を加えた計7町で構成され、「高田郡」と呼ばれていました。昭和48(1973)年に白木町が広島市と合併し、安佐北区となってからは6町となりました。平成に入ると、日本中の市町村が合併して大きな町や市をつくるようになりました。そこで高田郡6町も合併することになり、平成16(2004)年3月1日、安芸高田市が誕生しました。安芸高田市のようにいくつかの町が集まって市になったのは県内では初めてです。

市になることのよさ

これからの時代は、「その町の仕事はその町で行うのがよいだろう」と、国や県がしていた仕事をそれぞれの町に任せようになりました。すると仕事量が増え、小さな町の職員数では、全部の仕事ができにくくなりました。また、人口が減り、町に入ってくる税金も少なくなるので、たとえ町民のくらしのためになることでも、どうにもできないことが多くなりました。そこで、もっと大きく強くしようというのが「合併」です。高田郡に住んでいる人々が安心してくらせるまちをつくるのが大きな目的でした。



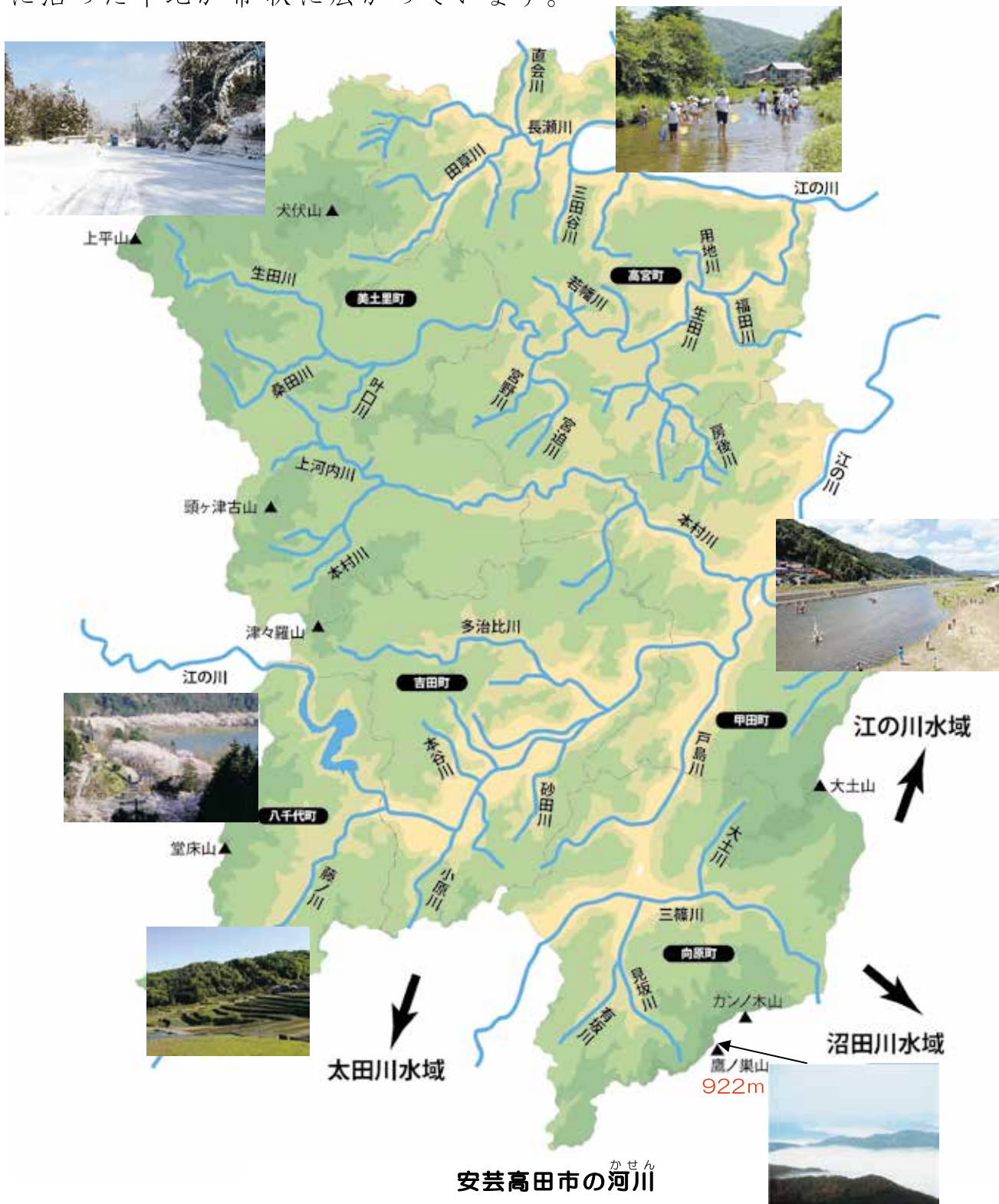
市長さんの話

安芸高田市は「人がつながる田園都市 安芸高田」を将来像にかけ、人が集い育つまち、安心・安全にくらせるまち、地域資源を活かしたまちづくりをすすめていきます。

安芸高田市 市長 浜田一義

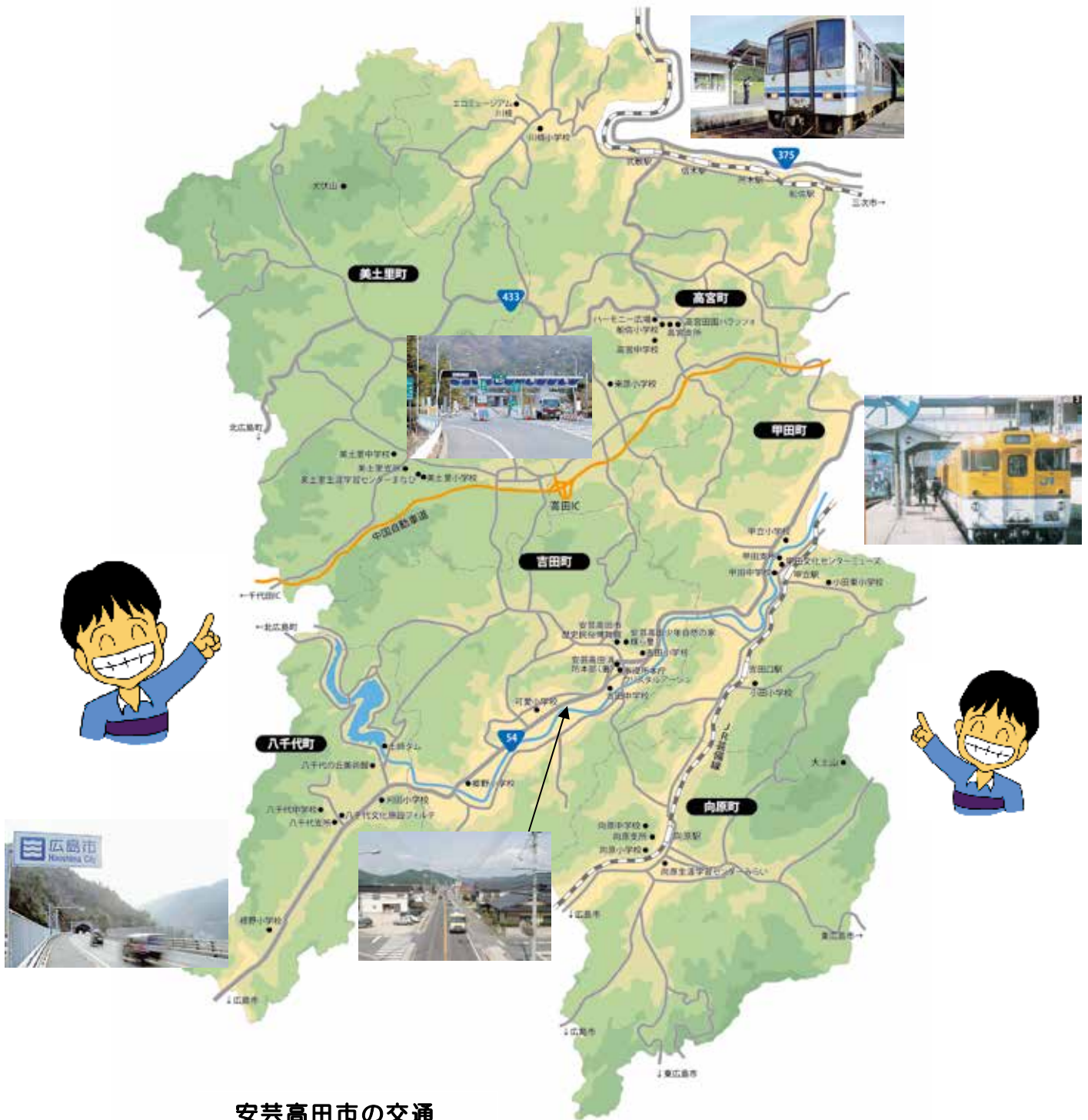
2 安芸高田市の土地のようす

安芸高田市には、高く^{けわ}険しい山はみられませんが標高^{ひょうこう}700mから900mを超える^こ犬伏山、^{いぬぶし}大土山、^{おおつちやま}鷹の巣山などの山々に^{たか}囲まれています。安芸高田市で一番高い山は、向原町にある鷹の巣山（標高922m）です。市内面積の80%を^{しんりん}森林が占めており、起伏の小さな^{きふく}丘陵と河川に^そ沿った平地が^{おびょう}带状に広がっています。



3 安芸高田市の交通のようす

安芸高田市は、広島市と備北地域の中心都市三次市との間に位置します。市内を横断する中国自動車道に高田インターチェンジがあります。また、広島と松江を結ぶ国道54号と市南部にJR芸備線がほぼ並行して走っています。市北部には、JR三江線が走っています。そのほか国道433号、主要地方道吉田邑南線（県道6号）、広島三次線（県道37号）など山陰と山陽を結ぶ幹線道路が走っています。



安芸高田市の交通

4 安芸高田市の自然

自然の豊かな安芸高田市には、特徴的な地形や天然記念物などがあります。みなさんの地域にはどんなものがあるか調べてみましょう。



■ 分水嶺（八千代町上根，向原町戸島）



分水嶺の標識（八千代町上根）



分水嶺の標識（向原町戸島）

地表に降った雨などの水は高いところから低いところへ流れます。安芸高田市には、2つの分水嶺があります。

分水嶺とは、地面に降った雨水がそれぞれ反対側に流れる境界線のことです。隣り合っている川の流れを分ける境界のことです。

向原町戸島にある「泣き別れ」は、水田の中にあります。これより北側の水は、江の川（可愛川）に流れこみ日本海へ注ぎます。南側は、三篠川を経て太田川に流れ込み瀬戸内海に注いでいます。さらに、八千代町上根にも平地での分水嶺があります。国道54号沿いには、分水嶺がある場所に標識が設置されていて、分水嶺のようすがよくわかります。

実際に分水嶺の場所を訪れ、どんなようすが調べてみよう。



■ 甲立礫層 (甲田町上甲立)

礫をたくさん含んだ地層の様子がとてもよくわかります。6年生の理科学習で役立ちます。



礫とは、小さい石。こいし。粒が2mm以上の岩片。



甲田町椽地～下甲立間の市道のそば標高約300mのところに約15mの厚さで礫層が地表に出ています。

この礫層は、安芸高田市周辺に広がる地層のことで甲立にあるものが最も模式的であるため、昭和28年広島大学今村教授によって「甲立礫層」として紹介されました。年代

は、今から約100万年前の新生代第三紀のものです。

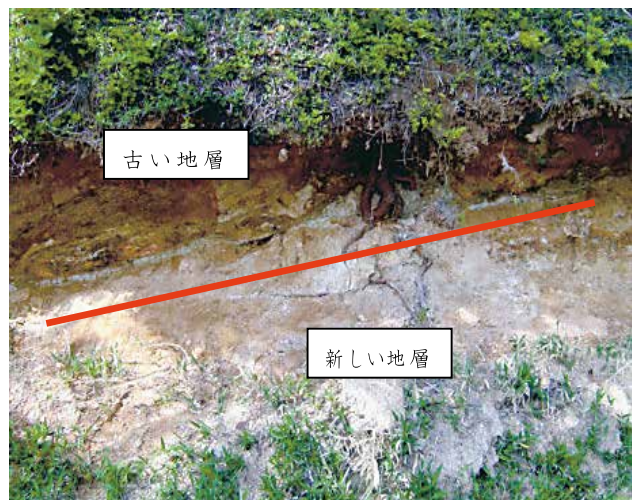
この地に見える礫の大きさは3cmから10cm程度のものがたくさんあります。

■ 国指定天然記念物 船佐山内逆断層帯 (高宮町佐々部)

この船佐衝上断層は、県北部一帯に広がっている備北層群の泥岩層と、その上側に不整合に乗っている甲立礫層の上に、図1に示したように古い花崗岩が押し上げられ、乗り上げています。

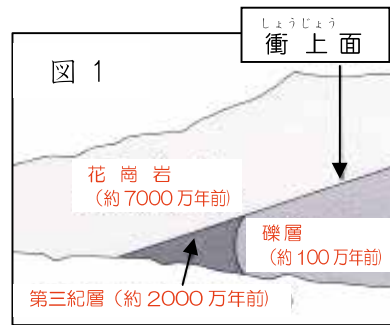
上の花崗岩と、泥岩層、甲立礫層との境界面には粘土層がはさまれていて、さかいが断層であることを表しています。

この衝上は、数十万年前、このあたり一帯の地層が横からの強い圧力で押され、激しい地殻変動があったことを示しています。また、



船佐山内逆断層

中国山地を隆起させ、瀬戸内海を陥没させた洪積世（258万年前から1万年前）の地殻が動いたこととも深い関係があり、とても貴重な資料とされています。



新しい地層の上に古い地層が押し上げられて断層ができました。

ことばの説明

衝上断層：上側の地層が下側の地層に対してゆるい角度でずり上がってできた断層のこと。

泥岩：海や湖・沼の底などにつもった泥（粘土）が、固まって岩石となったもの。

断層：地下の地層や岩に力が加わって割れ、その面に沿ってずれて食い違いができた状態をいう。

■ 県指定天然記念物 出店権現のウラジロガシ（美土里町生田）



ウラジロガシは、西日本の暖かい土地に広く生えています。

他の常緑広葉樹に比べ、内陸部のより高い地域にまで生えています。この木は、高さ約19m、幹の周りは、7mをこす巨木です。大小6本の幹に分かれ、寄せ植えて1本の木になった老木とみられています。木の幹

にはムラサキシキブ、ジャノヒゲ、フユヅタ、ニンドウ、トラノオシダ、ノキシキブなどの低い木や草が着生しており、広島県内でも名木の一つになっています。

■県指定天然記念物 佐々部のカキノキ（高宮町佐々部）

この木の高さは 12m，幹の周りは 2,31mで，柿の木とは思えないほどの巨木です。現在も秋になるとたくさんの実をつけています。

安芸国（現在の中国地方）では，江戸時代（1716～1736年）に渋をしぼるため柿の木を植樹したと伝えられているところからすれば，樹齢およそ260年と考えられます。



■県指定天然記念物 唯称庵跡のカエデ林（甲田町上甲立）

「唯称庵」は，1822年，豪農三上安秀（屋号：安国屋）が浄土宗本願上人を招いて，この場所に四間半の庵を建てて，唯称庵と名をつけて住ませたことに始まります。

1823年，唯称庵主本願上人が京都の高尾よりカエデをとりよせ植えたものと伝えられています。本村川の川土手に約100mにわたって美しいカエデの林は，県史跡五龍城跡のふもとを彩っています。秋には，地域の振興会が「カエデまつり」を開き，たくさんの観光客でにぎわいます。



美しい紅葉が楽しめるのも地域振興会の皆さんが手入れをされているおかげですね。



■市指定天然記念物 おおそうたしつげん 大澤田湿原（美土里町生田）

おおそうたしつげん 大澤田湿原は、いぬぶしとうげ 犬伏峠付近、
標高 650m にあります。湿原の全長は、約 400m で、幅は
広いところで約 50m にもなります。このあたりは、平坦な
地形になっていますが、ややくぼんだ所に水がたまって
きた湿原です。

この湿原には、57 種類もの植物が確認されています。こ

のうち保護する上で重要な植物が 3 種類、広島県で絶滅するおそれのあるものが 1 種類、国立・国定公園特別地域の中の指定植物が 14 種類あります。

このように大澤田湿原は、湿原特有のとても貴重な植物や昆虫類の重要な生息地にもなっています。



■市指定天然記念物 かたくり かたくりの花群落（向原町長田・坂寺山）

かたくりの自生地は、向原町長田川之内地区と向原町坂寺山地区の 2 ヲ所にあります。

かたくりは、ユリ科の植物で 4 月初旬に花が咲きます。

花は、花茎の先に一つ花がつき 4.5cm くらいで紫色をしています。下側を向いて咲く 6 枚の花びらは、日中は、開いてそり返り、夕方にはすぼみ約 2 週間咲き続けます。

寒冷地を好むかたくりが、標高 200m の温暖な人里に群落をつくっているのは珍しいです。春には、かたくりの花を見るために多くの人々が訪れにぎわいます。



花がとてもきれいに咲きます。みなさんも訪れてくださいね。

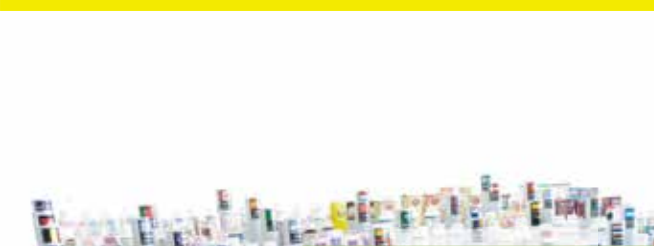


安芸高田市には、まだまだたくさん豊かな
でんえん
田園の安らぎがあります。調べてみましょう。





第2章 産業のようす



安芸高田市の農業，工業，
商業のようすから，安芸高田
市とほかの地域とのつながり，
生産に関わる人々の努力
について考えましょう。



1 安芸高田市の農業

わたしたちの命をささえる食べ物。通学路から田や畑を目にすることがありますね。ここでは、安芸高田市の農業について考えてみましょう。

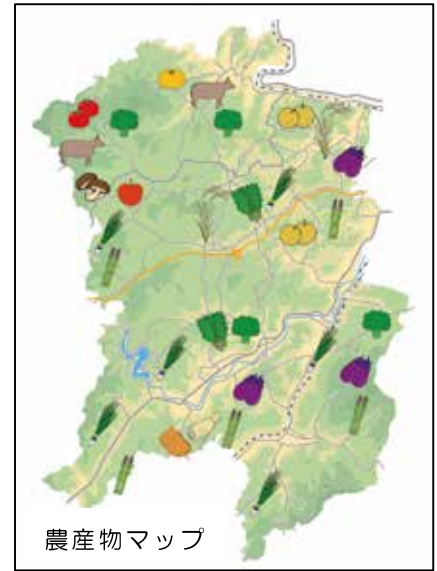
農業就業人口の平均年齢		
順位	市町名	平均年齢
1位	安芸太田町	72.8
2位	世羅町	71.6
3位	安芸高田市	71.5
	広島県平均	70.4

経営耕地面積に占める田の割合		
順位	市町名	構成割合
1位	北広島町	92.7
2位	東広島市	91.7
3位	安芸高田市	90.9
	広島県平均	82.0

2010年世界農林業センサス
(広島県確定値)

平成18年安芸高田市農業生産額	
米	259
豆類	3
いも類	3
野菜	100
果実	10
花き	4
種苗・苗木・その他	2
肉用牛	45
乳用牛	68
生乳	60
鶏卵・鶏・その他	79
農業生産額	633

単位:千万円
農林水産省統計データ



安芸高田市では、四季折々の農産物を生産しています。また、平成18年農業産出額は63億3千万円でした。そのうち、米の生産額が25億9千万円と40.9%をしめています。安芸高田市の農業には、どんな特徴があるのでしょうか。

(1) 安芸高田市の野菜づくり



どんな工夫や努力があるのかな？

■ 水耕栽培でもつくられている青ねぎ

わたしたちが住む安芸高田市では、様々な種類の野菜が栽培されています。中でも、水耕栽培の「青ねぎ」は全国各地に出荷され、大手スーパーでも売られています。買い物に行ったら探してみましょう。



*注 水耕栽培とは、養液栽培のうち土を必要としないものこと

安芸高田市のねぎハウス

■青ねぎが出荷されるまで



栽培から出荷まで、どんな仕事があるのかな？



たねをまく



めが出てから3日後



外葉や根を落とす



しゅうかくする



しゅうかく前



きまつたりにたばねる



きかいでつつむ



予冷庫で冷やす



しゅうかする

市内の農家で結成されているJ A広島北部クリーンカルチャーグループのねぎの水耕栽培が、日本農業賞の大賞を受賞したんだ。また、安芸高田市では、新たな担い手育成に向けた就農塾も開かれ、一から野菜づくりと生産から販売を学んでいます。



これからの農業（農業後継者育成支援事業）

安芸高田市には、2,872戸の農家があり、稲作を中心に、ネギやアスパラガス、ブロッコリーなど、様々な農作物が作られています。しかし、農業従事者の高齢化や地域の過疎化、担い手不足の問題も抱えています。

広島県立農業技術大学校を卒業後、高宮町にある羽佐竹農場に就職した松長さん（20歳）。「僕は、吉田高校の現アグリビジネス科卒業です。安芸高田市には農業を勉強できる高校がありますし、そういうところで農業を経験して農業の魅力をどんどん知ってもらいたい。」と意気込みをもち、チンゲン菜の栽培に力を入れています。



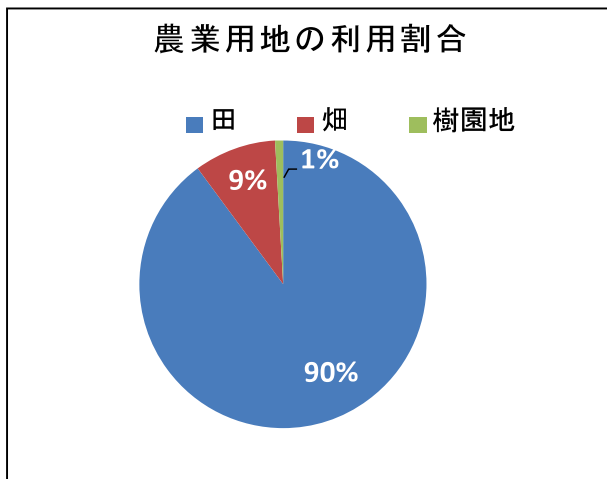
(2) 安芸高田市の米づくり



わたしたちの「食」を支える米。田園風景が美しい安芸高田市で、米づくりはどのように行われているのでしょうか。みなさんのまわりでお米をつくっている方はいませんか。お話を聞いてみるのもいいですね。



「三矢御膳」は、広島生まれで県の推奨品種にも採用される「あきろまん」を安芸高田市の農家がつくり、安芸高田市とJA広島北部がブランド米として平成20年から販売しています。安芸高田の指定農家が、丹精込めて育てあげた広島の「ごちそう米」ブランド“三矢御膳”。元となるお米は、「コシヒカリ」をさらにおいしく改良しています。おいしいお米の三要素「うまみ」「ねばり」「香り」を高い基準で満たしたちょっと贅沢なお米です。安芸高田市の自然の恵みと農家の方の工夫と知恵が生み出した安芸高田市のブランド米です。



平成22年世界農林業センサス（安芸高田市）



©2014 S.F.C. 安芸高田市スポンサードゲーム

米づくり体験

小田小学校5年生は、米づくりの体験活動をおこなっています。鎌で刈取りやコンバインの操作も体験したそうです。



いねか 稲刈りの様子

(3) 安芸高田市の果物づくり くだもの

安芸高田市では、ゆず、ぶどう、なしなど、たくさんの果樹が栽培されています。また、それを使ったいろいろな商品もつくられています。



なしを栽培している 甲田町 向田さんの話 むかいだ

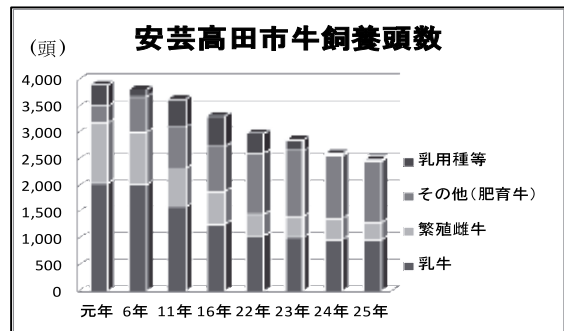
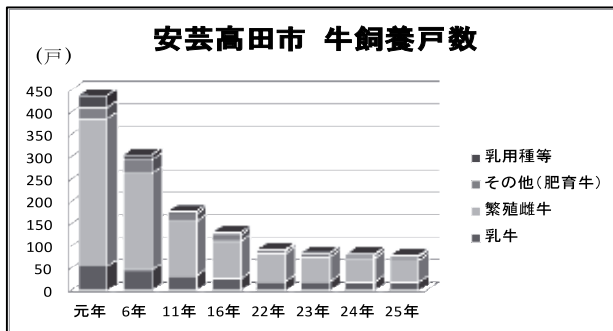
最初は見よう見まねで始めた梨づくりですが、今では多くの方々に食べていただけるようになりました。自然が相手ですから、気温や天候にはいつも気を配り、おいしい梨が育つよう、いろいろな工夫をしています。「寒くはないか、のどがかわいてはいないか。」など、子どもを育てるのと同じですね。



地元の小学生がお世話をしてくれる木もあるんですよ。

(4) 安芸高田の畜産 ちくさん

安芸高田市では、畜産も行われています。安芸高田市の現状について考えてみましょう。



安芸高田市畜産業(牛)推移表 (安芸高田市地域営農課)

地域の畜産は、少子高齢化や担い手不足などにより、畜産農家数の減少が課題となっています。しかし、そんな中、両親の後を受け継ぐ若者のたくましい姿も見られるようになりました。



*注 少子高齢化とは、少子化と高齢化が同時に進んでいる状態のこと

2 安芸高田市の工業

安芸高田市にはたくさんの工場があります。安芸高田市の工業の特色をさがってみましょう。

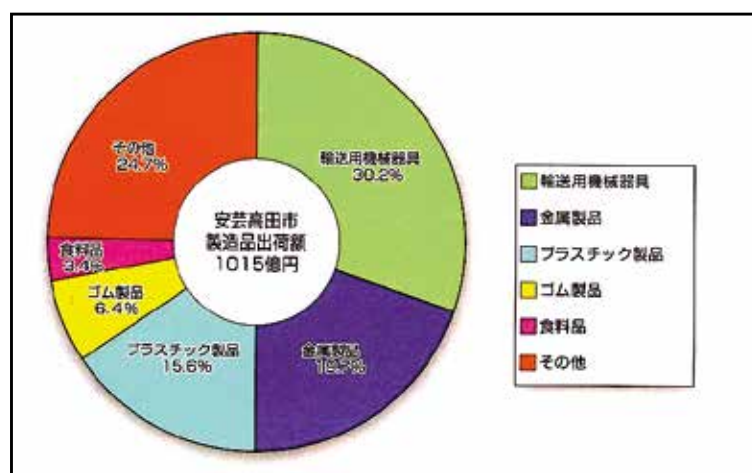
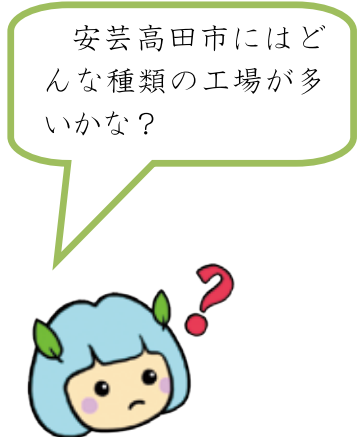


こんなにたくさんの工場が安芸高田市内にはあるんだね。どの工場も生産技術の向上を目指しながら、日々チャレンジしているよ。



1	有限会社 平木製材所	17	(株)マテリアル・サービス高田宇部工場	33	株式会社 山口製作所
2	有限会社 大山鉄工所	18	坂本重工 株式会社	34	田中電機工業 株式会社
3	(株)大和エンジニアリング八千代工場	19	大和重工 株式会社吉田工場	35	株式会社 栄鋼社
4	株式会社 大前醤油本店	20	香川鉄工 有限会社	36	株式会社 ミドリ美土里工場
5	新庄みそ株式会社吉田工場	21	株式会社 佐藤型鋼製作所	37	スターライト工業(株)広島工場
6	安芸高田アグリフーズ株式会社	22	株式会社 赤川製作所	38	住野工業株式会社 高宮工場
7	ドリームベッド株式会社	23	国重鉄工所	39	南条整備工業(株)八千代工場
8	児玉紙器 吉田工場西浦工場	24	山陽製螺工業 株式会社	40	株式会社 ニッケイ加工広島
9	世羅印刷 株式会社	25	株式会社 藤崎商会	41	株式会社 藤本工業
10	アオイ化学工業(株)	26	三和シャッター工業(株)	42	株式会社 船越鉄工
11	ビューティーサポ(株)	27	橋本鉄工株式会社	43	株式会社 モルテン美土里
12	(株)ゼロエミッションリサーチ	28	やまびこエンジニアリング(株)	44	中国ブロードバンドサービス(株)
13	有限会社 甲田工業	29	エムテック八千代工場	45	株式会社 ニイダ
14	西川ゴム工業 株式会社	30	ファクシス株式会社	46	株式会社 フリーエム
15	有限会社 向原ゴム工業	31	株式会社 マルセイ	47	中国酸素 株式会社高田営業所
16	キョクトウ高宮 株式会社	32	株式会社 啓文社製作所	48	株式会社 マルシン

製品出荷額と主要業種



平成23年広島県工業統計調査速報

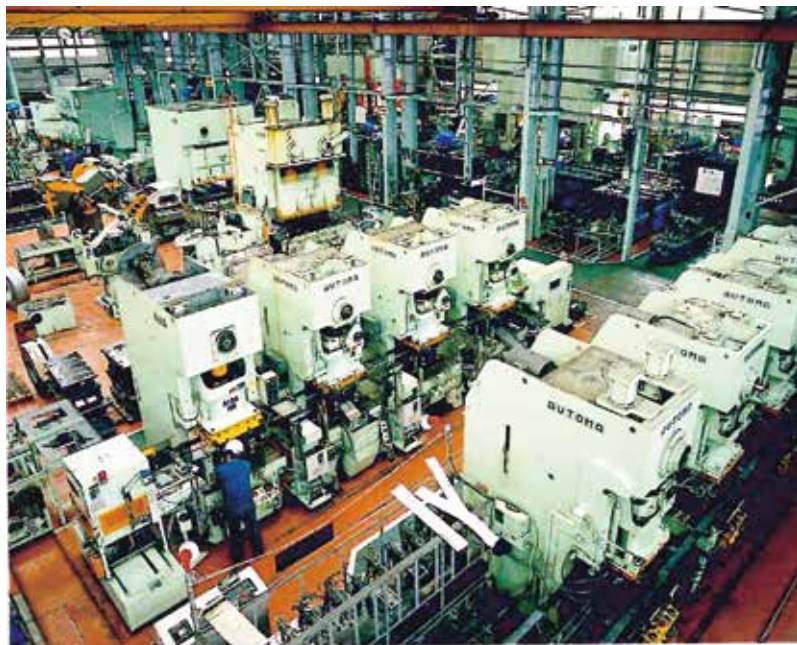
(1) 安芸高田市の自動車関連工場



安芸高田市の自動車関連工場ではどのような工夫や努力がされているのだろう。

安芸高田市には、自動車会社マツダの関連工場が多数あります。

住野工業株式会社高宮工場では、マツダの第1関連工場として昭和35(1960)年以来自動車部品の製造受注を始め、3000種類以上もの主要パーツを製造しています。産業用ロボットを使って高品質の製品づくりをしています。



産業用ロボットを使っのプレス



500 t トランスファープレス



生産ラインのロボット化

この工場には、プレス工場だけでなく、テクニカルセンターも設置されています。テクニカルセンターは、生産型企业から開発型企业へと、プレス加工部品の設計・製作を行う研究開発をする所です。この工場では、金型の自社製作や生産ラインのロボット化によって、「コスト低減」「多品種少量生産」を可能にし、ニーズにこたえた

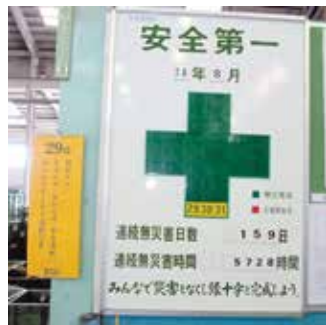


テクニカルセンター

製品づくりを実現させました。

また、働く人が安全に、気持ちよく、そして意欲的に働けるように様々な工夫もしています。

この工場では安全に気持ちよく働けるためにどんな工夫をしているか、さがしてみよう？



ありがとうの木

製造部部长 山本さんの話

ものづくりは人づくりです。多くのロボットを導入していますが、ロボットのお手本は人間です。ですからわたしたちは、^{わざ}技を教え込み、直し、^{でんしょう}技能を伝承していかなければなりません。そういった意味でも、^{じんざいいくせい}人材育成は欠かせません。技術の^{しゅうとく}習得だけでなく、もの作りの考え方も育成するために「スミノアカデミー」を立ち上げました。そして、「わかる→できる→動ける→感動を与える」ものづくりをめざしています。



また、^{がた}開発型企業をめざす研究開発セッションであるテクニカルセンターは、^{ゆめこうぼう}「夢工房」と名付けています。



精密プレス部品



テクニカルセンター出入口

(2) 世界とつながる安芸高田市の工場



安芸高田市でつくられた製品は、どのよう
に世界とつながっているのだろう。

甲田町にある湧永製薬わくながせいやくでは「元気で健康な毎日
のためには予防が第一」という考えのもと、天然てんねん
素材そざいの可能性を最大限に発揮はつきさせる製品を追求
しています。安芸高田市にある製造工場では、最
新の設備を備え、高度に自動化・省力化しょうりされた
清浄せいじょうな生産ラインで製品が作られています。

また、徹底した品質管理や原料へのこだわりで、
より安全な製品を作り出そうと努力を続けてい
ます。最新鋭の検査システムさいしんえいによる品質の向上と
安全確保だけでなく、より高品質な原料を確保す
るために、北海道の自社農場では有機農法ゆうきも行っ
ています。



検査システム



北海道のニンニク畑

世界とつながる

この会社は、品質性の高い製品で海外
ともつながっています。東京オリンピック
が開かれた昭和 39(1964)年には「世
界中の人々に健康である喜びをお届け
したい」と海外にも進出しました。今で
は世界 40 数カ国に広がっています。



製品を販売している国々

地域とつながる

この会社は、環境緑化運動やスポーツ
を通じて、地域社会活動も推進していま
す。社員が交代で造成作業ぞうせいや植樹しょくじゅを行い、
約 10 年かけて完成させた手作りの庭園で
は、5 千本のバラが咲き誇り、春と秋に
は無料で公開され、毎年多くの人々が訪
れます。



湧永満之記念庭園

(3) こだわりを大切にしている地元の工場

安芸高田市には、こだわりをもった工場もたくさんあります。それぞれのこだわりを大切にしながら、地元ねざに根差したものづくりをしています。

いもの 鋳物製品工場「『たたら』がわが社の原点です」

吉田町にある大和重工吉田工場だいわじゅうこうでは、150年以上前の創業そうぎょうじ時から受け継いだ「たたら」(日本こらい古来のどくとく独特の製鉄)技術を生かし一貫していもの鋳物づくりにこだわり、いもの鋳物製品を通じて社会こうけんに貢献してきました。現在はこの技術を生かして「いもの鋳物ホーロー浴槽」を中心に「ちようしゅう長州風呂ごえもん(五右衛門風呂)」等せいぞうを製造しています。



注湯作業



ちようしゅう長州風呂ごえもん(五右衛門風呂)

また、安芸高田市の特色を生かした「マンホール鉄蓋」も製造しています。



みなさんの身近な所でも見られます。さがしてみましよう。



いもの鋳物ホーロー浴槽



てつふた甲田町鉄蓋



てつふた吉田町サッカー公園鉄蓋

(安芸高田市工業会ガイド)

しょうゆ 醤油工場「豊かな自然と豊富な水、素材へのこだわりが命です」

甲田町にある大前醤油本店では、大土山系の美しい水と自然や原料に恵まれた立地のもとで研究を続け、これまでに農林水産大臣賞などを複数回受賞するなど品質において高い評価を受けています。

現在、醤油そのものの需要が伸び悩む中、だし醤油やつゆ・タレ類の需要は伸びており、各種ドリンクやタレを開発してきました。

最近では、コンピューターの普及に対応して、個々のお客の要望に応じて醤油のブレンドやまろやかさ、甘さの調節などを行う、セミオーダーシステムでの対応を行っています。



お店前の様子（甲田町）



市内のスーパーで販売されている様子



うまみ 天然旨味しょうゆ



神楽しょうゆ

（安芸高田市工業会ガイド）

安芸高田市には、自然を生かしこだわりを持ってものづくりをしている工場がたくさんあるね。

あなたのまわりには、どのような工場があるか調べてみよう。



(4) 安芸高田市の伝統工芸

安芸高田市には優れた技術・技能を持った職人がいます。

向原町にある横田鉄工所で作られる「鋏」「鎌」「包丁」などは、「あきたかたのたから」の地域ブランドに認定され、他府県からの注文もあり、高く評価されています。

鍛冶屋一筋 横田一三さん

第二次世界大戦中、呉で造船鍛錬工

だった一三さんは、終戦後住みこみで鍛冶の手伝いを5年半経験後、故郷の向原に帰り、農業を営んでいた兄の達夫さんと横田鉄工所をはじめました。

鎌作りは、800度に焼いた軟鉄を割り込み、接着剤を振り掛け、割り込みに鋼を入れます。それを1000度まで温度を上げ、地金と鋼を熱してたたくことで接合する作業をしていきます。あとは形を整え研ぐ作業などの仕上げをして完成。完成品は鉄の素材と鋼のつぎ目が全くわかりません。また、鋼を惜しまず使うため、作る道具は一生物。今も現役で体力・集中力を要する鍛冶仕事をこなす一三さんにしかできない高度な技術が評判を呼び、全国から訪れる人々が後を断ちません。そして「その期待に応えたい」と“いい仕事”をする努力を続け、お客さんとの“信頼関係”を大切にしています。「何の仕事でも相手に喜んでもらいたいという気持ちを持っていないとだめ。」と気持ちのこもった仕事を続けます。



包丁



せん定ばさみ



くわ かま
鋏・鎌

(JA 広島北部ほくほく通信 2010. 3月号)

伝承は難しいと言われるけど、どうやってこの技術を残していけばいいのかな。

3 安芸高田市の商業

(1) くらしの中のお店

安芸高田市には、ショッピングセンター、家電量販店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、産直市さんちよくいちなどの店があります。人口が少ないため、大型のデパートやスーパーではなく、中小型のお店が点在てんざいしています。古くからある商店街にはお店が少なくなっていますが、いくつかの個人経営のお店が残っているところもあります。



みなさんがよく利用しているお店はどのようなお店か調べてみましょう。そして、なぜそのお店を利用するのか調べてみましょう。

<町で見かけたお店>

スーパーマーケット



ショッピングセンター



個人経営の商店



家電量販店



ホームセンター



コンビニエンスストア



《買い物調べをしよう》

おうちによってそれぞれ行くお店がちが違います。どのお店でどんな品物を買っているのか。またどうしてそのお店を利用するのか。おうちの人に聞いたり、いっしょにお店に行ったりして、調べてみましょう。



よく行くお店を地図に書きこんでみよう。どのお店でどんな品物を買っているのかな？



(2) 産直市のようす

安芸高田市には、「産直市」が点在しています。「産直市」とは、地元の農産物が産地から直接持ち込まれ、販売されている市場（お店）です。手作りの加工品も売られ、多くのお客さんでにぎわっています。



きみの町には産直市はないかな？
どんなお店かな。何を売っているのかな。
たくさんのお客さんが来るわけを調べてみよう。

産直市では、野菜や花や果物を生産している地元の生産者から、朝とれたての農産物が持ち込まれ、販売されます。生産者が見極めた時期に収穫・陳列されるため、消費者は、最もおいしい状態で商品を手にすることができ、安心感がうまれ、生産者には責任感がうまれます。「新鮮である」「地域の特色をいかしている」「安い」といった魅力ある農産物・農産加工物が並んでいるため、安芸高田市内に住む人だけでなく、近隣の市町からも多くの買い物客がおとずれています。

産直市では、市内の温泉施設や観光地などにおとずれる客をそのままバスで産直市へ案内する観光コースを設定したり、産直市でしか買えない地元ブランド商品を販売したりし、たくさんのお客さんをよぶ工夫がなされています。

《市内各地の産直市》



ふれあいたかた産直市（吉田町）



農村交流館やすらぎ（向原町）



湯の森あおぞら市場（高宮町）



北の関宿（美土里町）



八千代産直市（八千代町）

地元ならではの、特産物がならんでいるよ。





旬しゆんのとれたて野菜がならぶ店内（ふれあいたかた産直市）

	春（3～5月）		夏（6～8月）		秋（9～11月）		冬（12～2月）	
	品物	売れた数	品物	売れた数	品物	売れた数	品物	売れた数
1	ほうれん草	13,785	きゅうり	13,757	青ねぎ	12,904	れんこん	12,371
2	玉ねぎ	10,655	小菊	13,176	小菊	12,117	白ねぎ	10,440
3	青ねぎ	8,604	トマト	12,056	レンコン	11,180	青ねぎ	10,267
4	きゅうり	7,052	なす	11,212	きゅうり	8,009	ほうれん草	7,037
5	アスパラ	5,918	アスパラ	10,536	白ねぎ	7,342	ニンジン	6,780

季節ごとの野菜の販売数（ふれあいたかた産直市平成25年調べ）

ふれあいたかた産直市さんちやくいち

店長さんの話

産直市さんちやくいちは、地域農産物を通じた交流の場として、平成12年にオープンしまし



た。安全・安心な農畜産物や農産加工品のうちくさんぶつをお客様にお届けしています。地元ブランド品などの販売もしています。

「産直市まつり」さんちやくいち「感謝祭」かんしゃなどのイベントも行い、作る人と買う人とのふれあいの場もうも設けています。



季節によって売れる商品がちがうね。花もたくさん売れているよ。どうしてだろう。



お店に並ぶ地元ブランド品

第2章 ちょっと復習5問クイズ

安芸高田市の農業、工業、商業を学んできたみなさんに挑戦してもらいましょう！



第1問



安芸高田市で一番生産されている農産物は何でしょう？

第2問



安芸高田市と JA 広島北部がブランド米として作っているお米の名前は何でしょう？

第3問



全国各地に出荷され、大手スーパーでも売られている安芸高田市の青ねぎは、どうやってつくっているのでしょうか？

第4問



安芸高田市には、多くの自動車関連工場があります。**産業用〇〇〇〇**を使って、高品質の製品を作っています。〇〇〇〇に当てはまる言葉は何ですか？

第5問



市外からもたくさんのお客さんが安芸高田市の特産品を買いに〇〇市を訪れています。〇〇に当てはまる言葉は何ですか？



みなさんは何問答えられましたか。安芸高田市をもっと深く調べてみましょう。



第 3 章 人々のくらしのようす



私たちの安心安全な生活はどのような人々の努力や工夫によって支えられているのでしょうか。調べてみましょう。



1 健康なくらしをささえるしくみ

安芸高田市の水道水は、どのようにしてつくられるのでしょうか。安全で清潔な水を届けるしくみについて調べましょう。

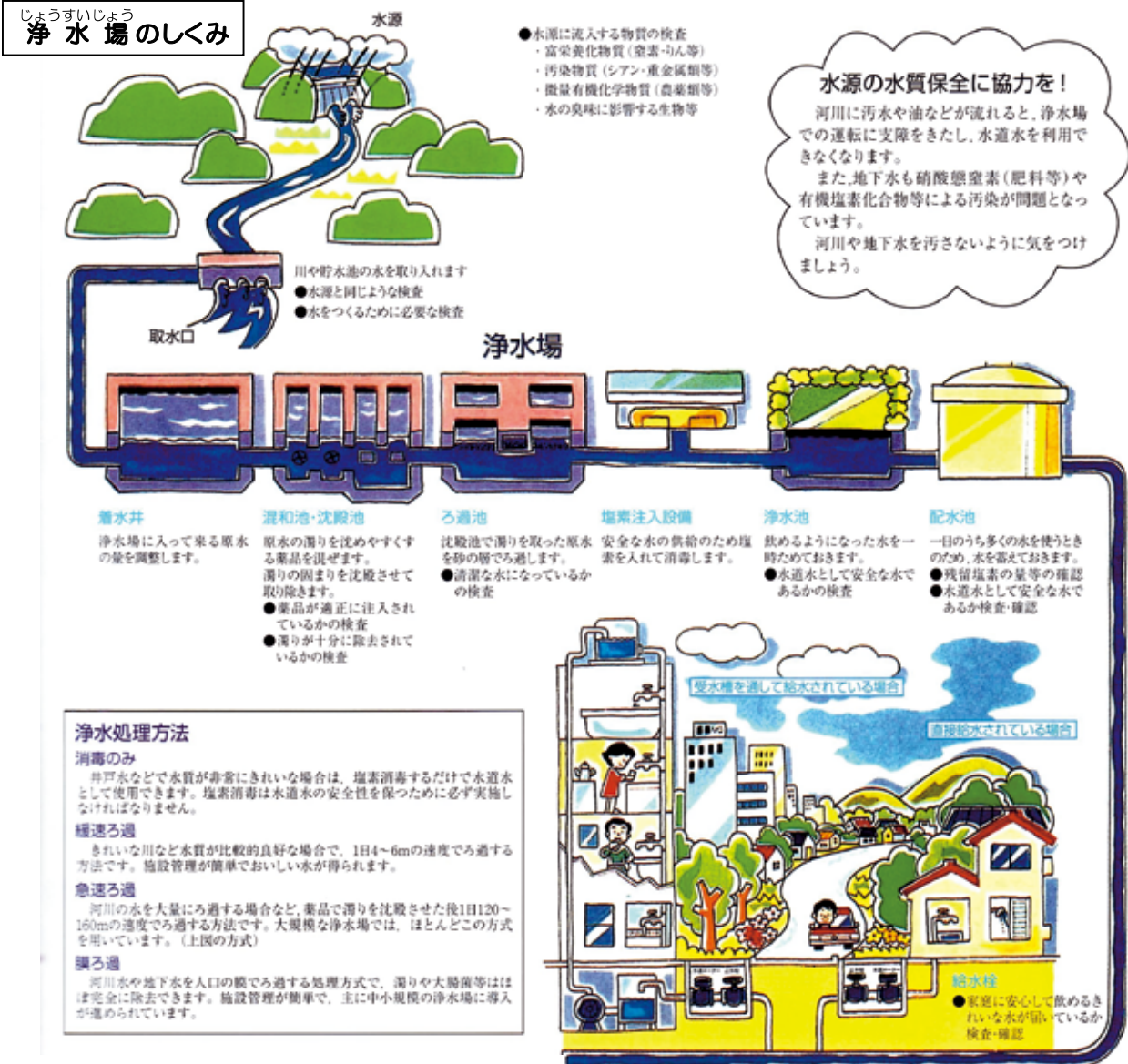
(1) 水とくらし

わたしたちが飲んでいる水はどこからきて、どこで飲み水になるのかな。



■安芸高田市の上水

安芸高田市の水道の水は、地下水をくみ上げたり、川の水を引きこんだりしてつくられています。安全でおいしい水を、安定してみなさんの家庭に届けるために「浄水場」という施設できれいにしてから水道水として利用します。浄水場のしくみを見てみましょう。



(社)広島県簡易水道協会発行 「広島県の水道」より

このようにしてきれいになった水を「上水」といいます。
 また、上水が通る管路のことを「上水道」といいます。

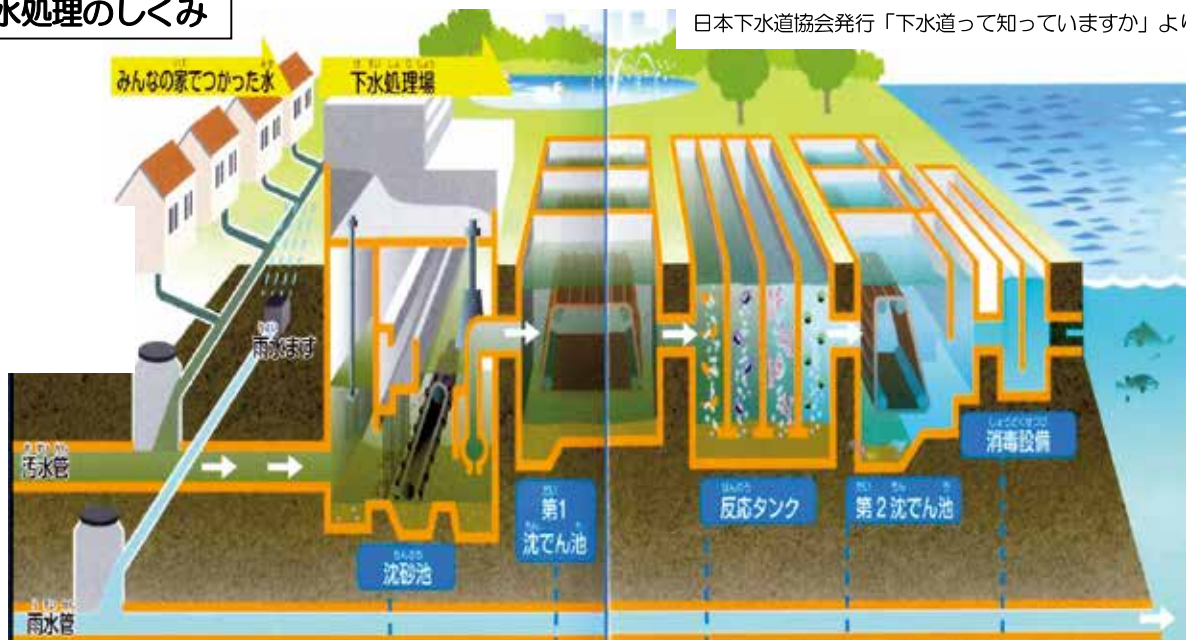


使い終わった水はどうなるのかな。

■安芸高田市の下水

使い終わった水のことを「下水」といい、下水が通る管路のことを「下水道」といいます。安芸高田市には4つの下水処理場があります。下水は下水道を通過して「浄化センター」という施設に集められます。浄化センターでは下水を自然に流してもよい状態になるまできれいにしてから自然に流しています。

下水処理のしくみ



日本下水道協会発行「下水道って知っていますか」より

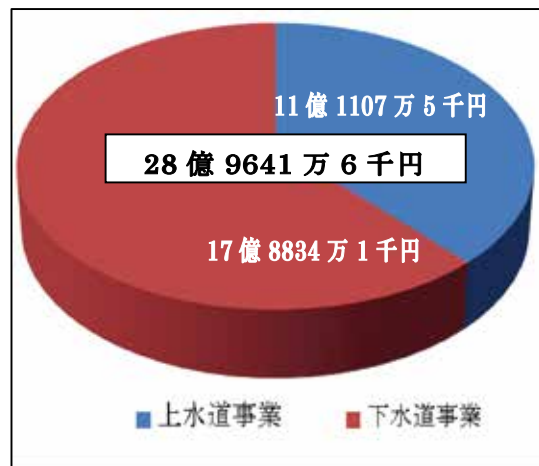
安芸高田市役所上下水道課の人の話

みなさんは、上水の供給と下水の処理では、どちらにお金がたくさんかかるとお思いますか。安芸高田市の水道関係の予算で比べてみてください。実は下水処理のほうに多くのお金がかかるのです。

また、家庭からしょう油や牛乳などが流されると、魚が住めるようにするだけでも大量の水が必要になります。環境のことを考えて、上手に水を使ってほしいですね。

安芸高田市上下水道事業にかかる予算

(平成26年度/単位千円)



■安芸高田市の上下水道関連施設

じょうげすいどうかんれんしせつ

市内の浄化センター

- | | |
|---|------------|
| ① | 生田浄化センター |
| ② | 船佐中央浄化センター |
| ③ | 原田浄化センター |
| ④ | 浅塚浄化センター |
| ⑤ | 甲田浄化センター |
| ⑥ | 吉田口浄化センター |
| ⑦ | 戸島浄化センター |
| ⑧ | 万念喜浄化センター |
| ⑨ | 坂上浄化センター |
| ⑩ | 向井原浄化センター |
| ⑪ | 向原中央浄化センター |
| ⑫ | 長田浄化センター |
| ⑬ | 吉田浄化センター |
| ⑭ | 国司クリーンセンター |
| ⑮ | 入江浄化センター |
| ⑯ | 下土師浄化センター |
| ⑰ | 八千代浄化センター |

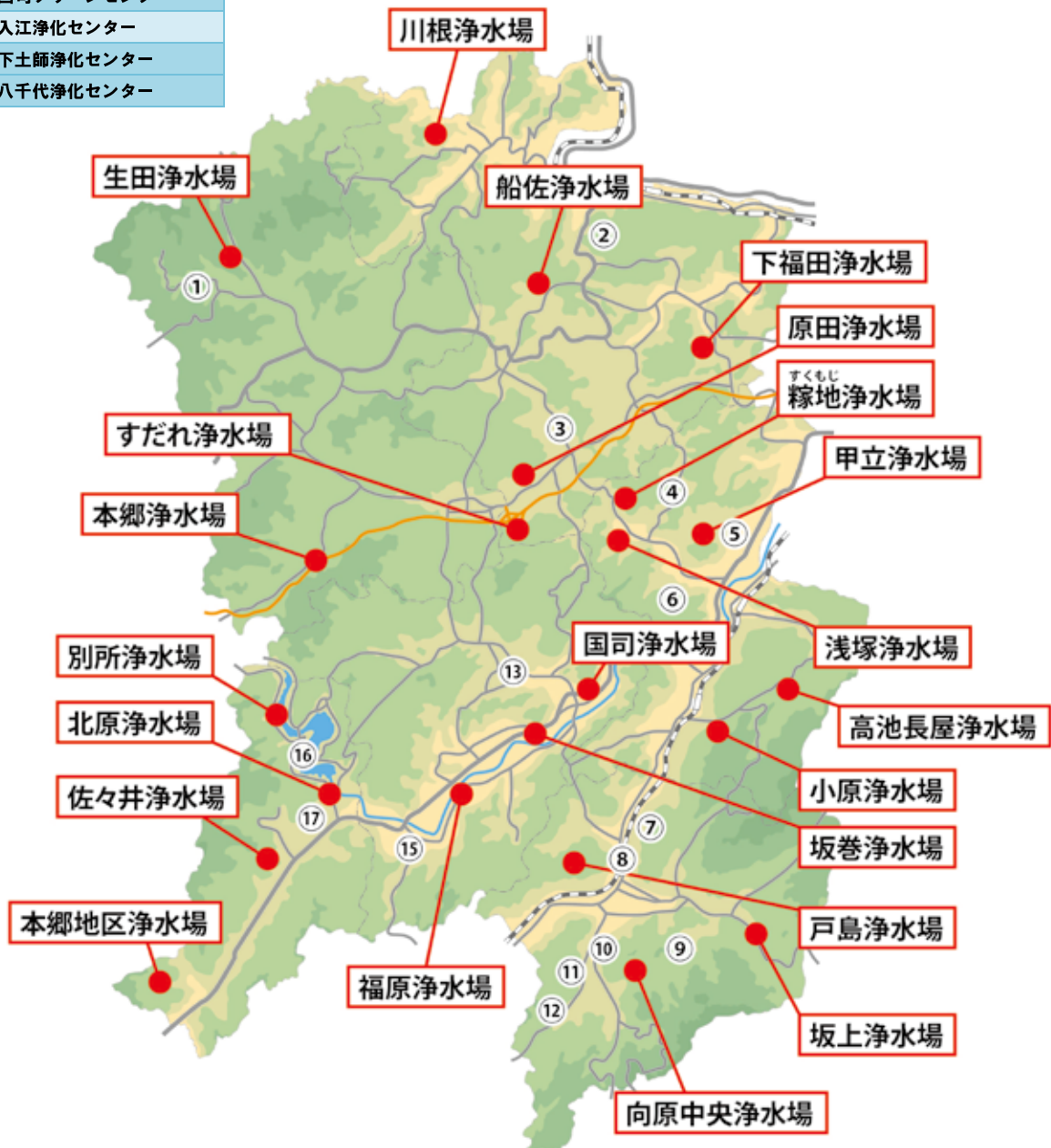


安芸高田市には、どこに浄水場や浄化センターがあるのかな？



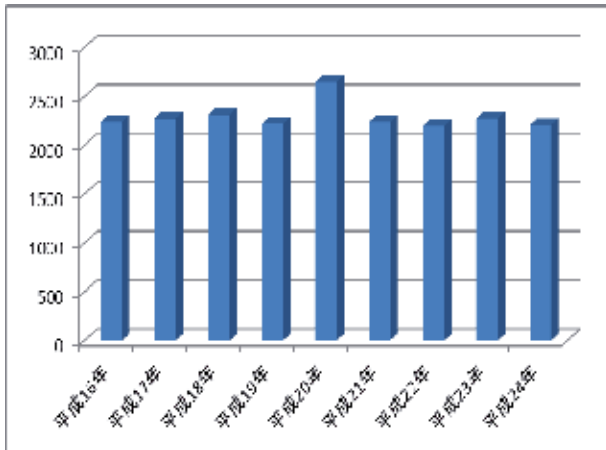
【坂巻浄水場】

川の下を流れている伏流水をポンプでくみ上げて、それが地下を這うパイプを通して浄水場まで送られ、ろ過や滅菌をしてきれいな水にします。

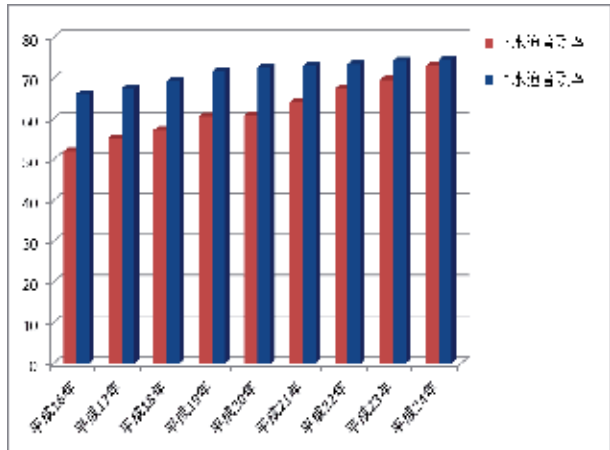


じょうげすいどうかんれんとうけいしりょう
■安芸高田市の上下水道関連統計資料

水道利用水量のうつりかわり(千m³)

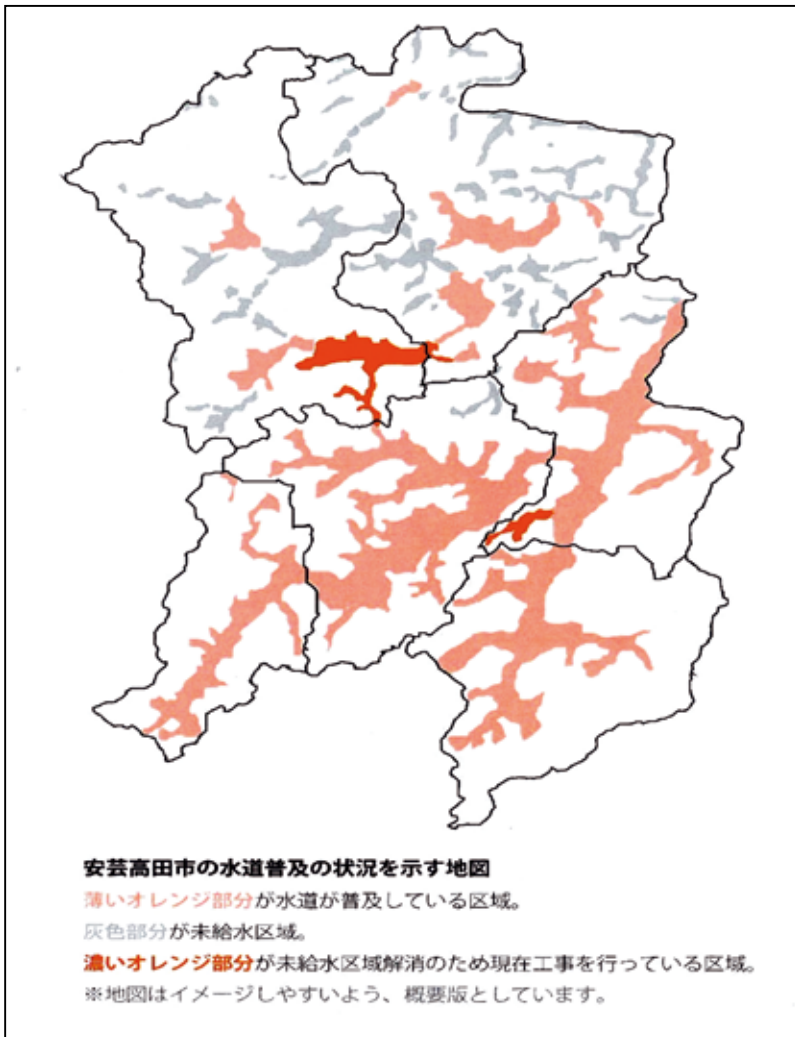


安芸高田市の上水道・下水道 普及率(%)



安芸高田市役所上下水道課調べ

安芸高田市では安全な水を届けるために努力を
 しているね。



普段は目にするこ
 の**下水道**。でも、見えな
 いところで、私たちの快適
 な生活をしっかり支えて
 います。水や下水道を正し
 く使えば、下水道管や下水
 処理場の負担が減り、水環
 境も守れます。どんな使
 い方をすればいいのか考
 えてみましょう。



平成 26 年 4 月現在

(2) 土師ダムの建設



土師ダムには、どんな力があるのだろう。

土師ダムは、江の川の洪水調節をしたり、下流沿川にかんがい用水の供給を行ったりしています。さらに水資源の広域的な利用を図るために広島市、呉市、および安芸郡の一部に都市用水として送られています。また、あわせて発電を行うことができる多目的ダムです。

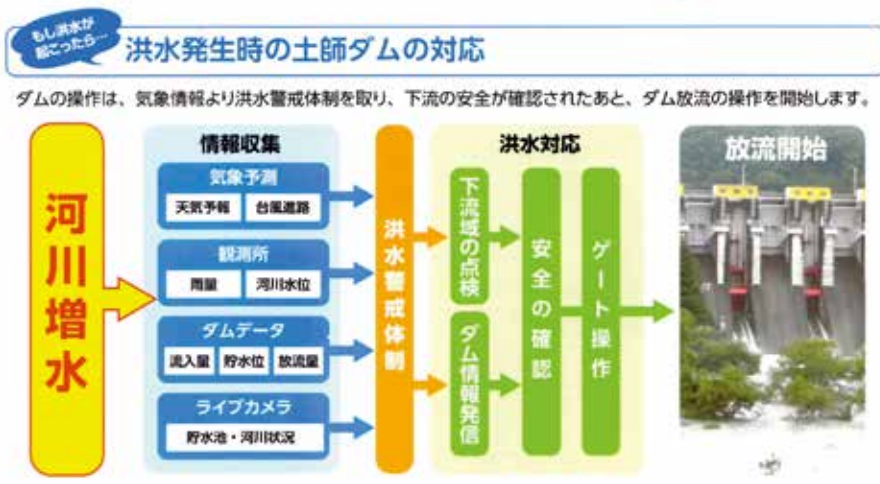
ダムの建設は昭和41(1966)年4月に着手し、8年の歳月と100億円の費用をもって昭和49(1974)年3月に完成、5月に運用を開始しました。



土師ダム(八千代町)

土師ダムの機能①【治水能力】

「中国太郎」と呼ばれ、中国地方最大の河川の江の川は、ふだんはのどかな姿を見せていますが、ひとたび大雨が降ると沿川各地に多くの被害をもたらす氾濫をくり返しました。土師ダムの建設により、ダムが洪水調節を行い、ダム下流河川の水位上昇を一定量におさえています。



かんがいは、田畑に人工的に水を引いて土地をうるおすこと

治水とは、水害を防ぎ、水の流れを管理すること

土師ダムの機能②【利水能力】

河川の流量は季節的な変動が大きいいため、洪水調節とともに水の安定的な供給のためにはダムによる調整が必要です。土師ダムは下流域のかんがい用水への補給をするとともに、流域をこえ太田川水系の広島市、呉市および安芸郡の一部に水道水や工業用水を給水しています。

1 かんがい用水

かんがい用水とは、田畑をうるおすのに必要な水のことで、このダムから安定した水が供給されることで、安心して作物を作ることができます。

お茶わん一杯分のお米を作るのに田んぼでは年間約 220L くらいの水が必要とされています。

2 発電

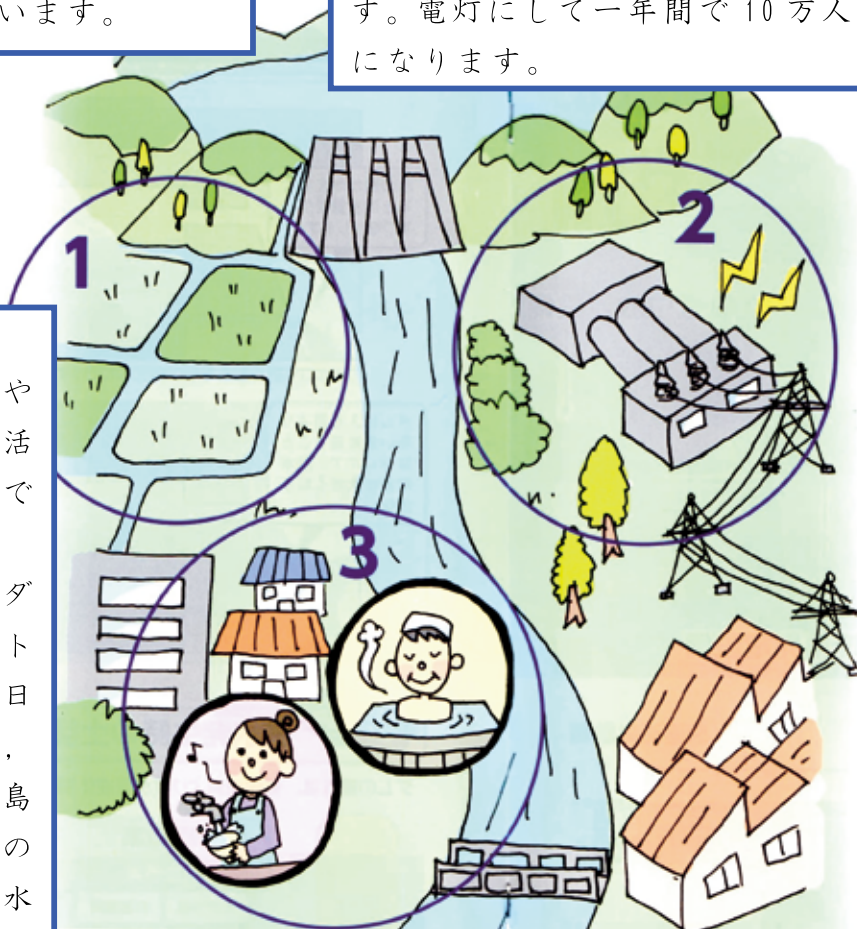
太田川水系に送る都市用水を利用し、最大出力 38,000kw、年間発生電力量約 149,000kwh の発電を行います。一世帯当たり 1kw とすると 38,000 世帯分となります。

土師ダムの水を太田川に送る途中の発電所で電気を作っています。電灯にして一年間で 10 万人分になります。

3 都市用水の供給

都市用水とは工場や上水道などの都市生活に必要な水のことで、

江の川にある土師ダムは、約 19km の分水トンネルにより 30 万 m³/日の水を太田川に送り、広島市や呉市、東広島市、竹原市、瀬戸内海の島々へ送られ水道水や工業用水として使われています。



(土師ダム管理所パンフレット)

* 利水…水の利用を図ること

(3) 安芸高田市のごみの処理^{しより}

くらしの中で毎日出されるごみが、どこへどのように集められ、しより^{かん}されているかを調べ、安芸高田市のごみに関する問題について考えてみましょう。



くらしの中から出たごみはどこへ、どのように集められているのかな。



この車はごみを集めるごみ収集車^{しゅうしゅう}（パッカー車）です。ゴミ収集車は安芸高田市内各地のゴミステーションに出されるごみを集め、^{やまがたぐん}山県郡北広島町にある^{げいほくこういき}芸北広域きれいセンターへ運びます。

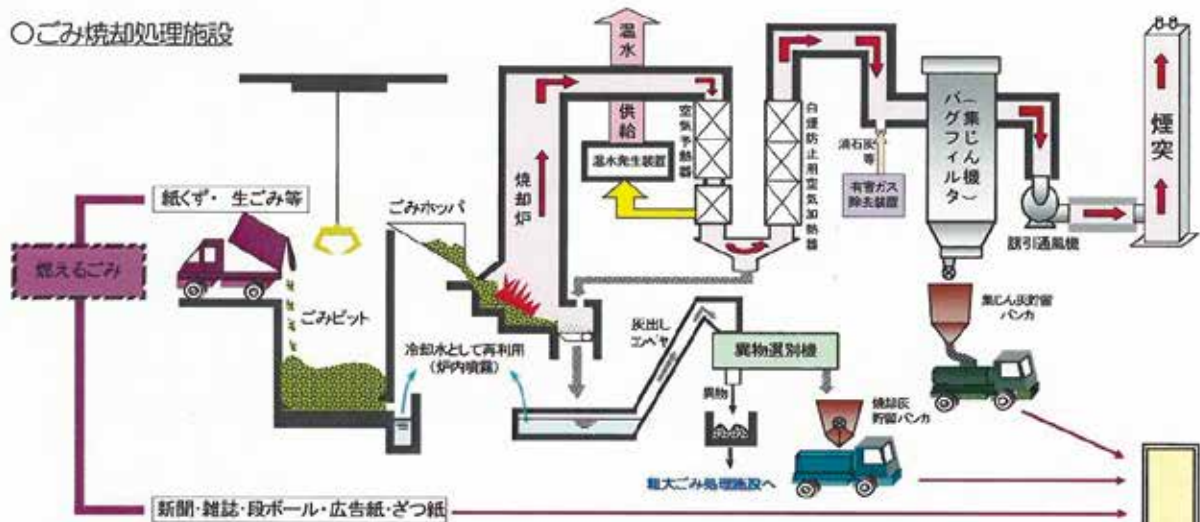


■ごみしよりの流れ

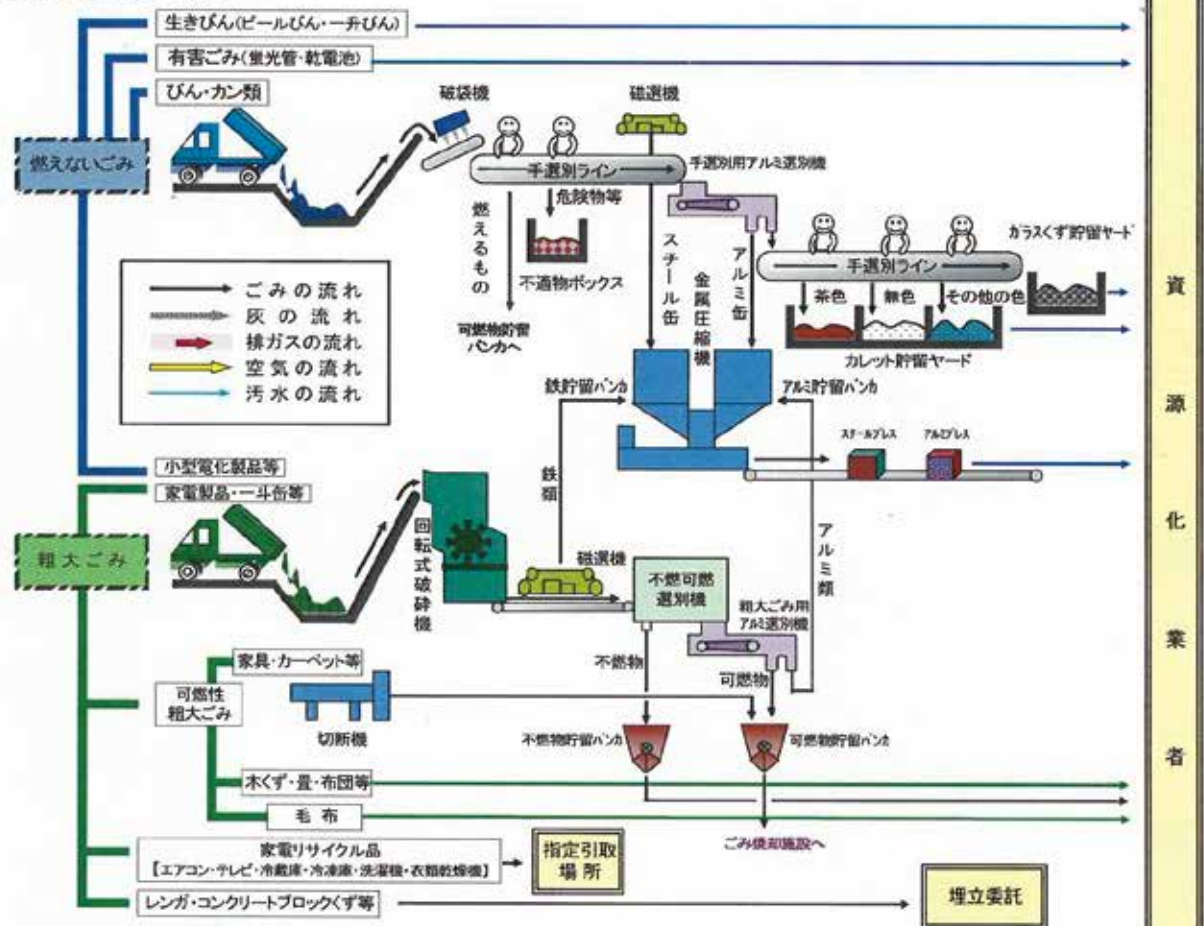
集められたごみはどのようにしよりにされるのかな。



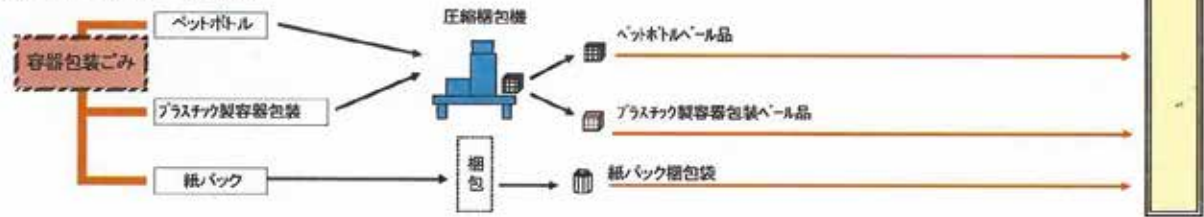
○ごみ焼却処理施設



○粗大ごみ処理施設

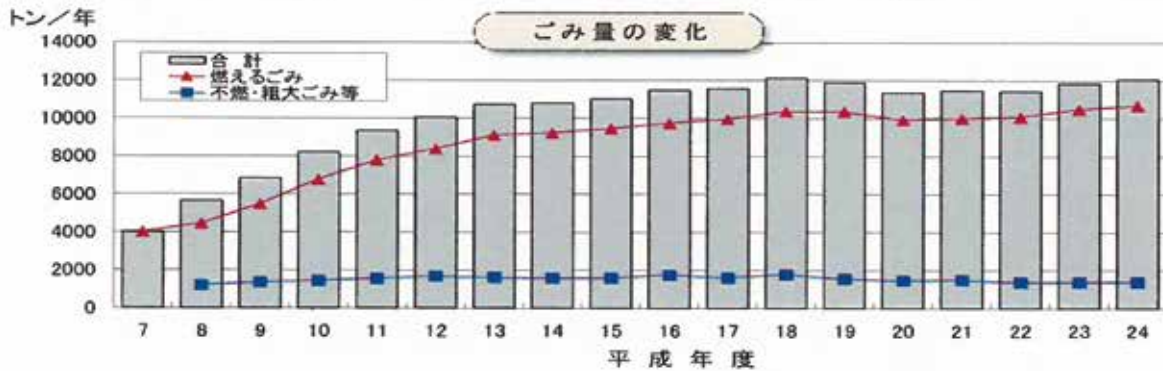


○ストックヤード施設



きれいセンター管内の人口・世帯数とごみステーションの数
(平成25年3月31日げんざい)

	人口	世帯数	ごみステーション数
安芸高田市	31,257	13,571	571
北広島町	17,282	7,348	325
計	48,539	20,919	896



きれいセンターに集まるごみ全体の量は増えているね。

燃えるごみの量は増えているのはなぜかしら？



どんな工夫をすれば、ごみを減らすことができるのかな。



■ 増える！燃えるゴミ！

きれいセンターに運ばれてくる「燃えるごみ」の中にはたくさんのカンや金属がまざっています。また、雑誌やプラスチック容器もまざっていることがあります。これらが、燃えるごみが増える原因となっています。

芸北広域きれいセンター村田所長さんの話

ごみを減らすためには分別が大事です。たとえば新聞や雑誌などは、それだけならリサイクルできますが、燃えるごみのふくろに入っていると、そのまま燃やされてしまいます。また、プラスチック容器などは、きれいに洗って出さなければ、他の物もよごれてしまったりリサイクルの対象にならず、結局燃えるごみとして処分されてしまいます。現在1日約41トンの燃えるごみが運ばれてきます。このままではしりが追いつかなくなってしまいます。



(広報あきたかたNo.112)

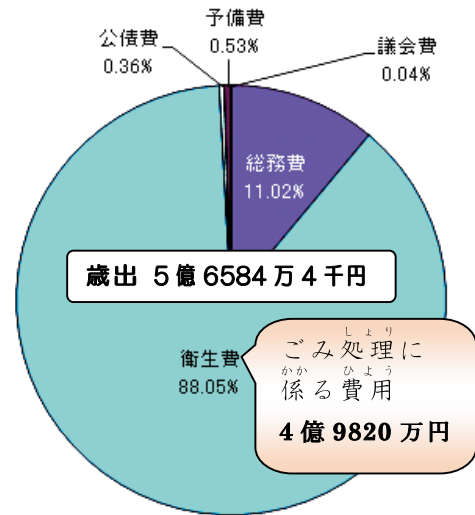


燃えるごみの中にまざっていた金属類
(広報あきたかたNo.112)

安芸高田市は、ごみ
に関する負担を2
億4853万円している
んだよ。



平成25年度芸北広域環境施設組合歳出予算
(安芸高田市、北広島町を合わせた予算)



平成25年度芸北広域環境施設組合一般会計の予算

上の写真は燃えるごみの中にまざった金属類の山です。燃え残った灰の中からすべて手作業で取り出します。これで1日分ですから、処理するためにはとても手間がかかります。また、安芸高田市のごみに関わる予算のほとんどが処理のために使われています。これから、ごみを出すときにはどんなことに注意すればよいでしょうか。

できることからやってみよう!

私たちが住む地球かんきょうを守っていくためには、ごみをへらしてしげんを大切に、かんきょうへのえいぎょうをできるだけ小さくする社会を作っていくなくてはなりません。このような社会を「循環型社会(じゅんかんがたしゅがい)」と言います。

そのための合言葉が、「3つのR」です。

- ① Reduce (リデュース) ⇒ ごみをへらそう
たとえば…いらないものは買わない、もらわない。
食べ残しをなくそう。
物は大切に長く使おう。
- ② Reuse (リユース) ⇒ くり返し使おう
たとえば…長く使えるものを買おう。
しゅう理して使おう。
自分が使わなくてもまだ使えるものは、人にゆずったりしよう。
- ③ Recycle (リサイクル) ⇒ 再びしげんとして役立てよう
たとえば…ごみの分別をきちんとしよう。
リサイクルされて作られたせいの品を利用しよう。
リサイクルしやすいせいの品を買おう。

ごみを減らすためには、
きれいセンターだけではなく、
みんなで協力しておこな
っていかねばなりません。

安芸高田市を「ごみ0」
のまちにするために、一人
一人がごみを減らす工夫を
していきましょう。



(4) 健康あきたかた 21

みんなが健康に過ごすために、安芸高田市ではどのようなことを行っているのだろう？



安芸高田市では、すべての市民が健康に過ごすために「健康あきたかた 21」という計画をつくり、食生活や運動に関係することなど、さまざまな活動を進めています。

計画の中でも特に、生活習慣病を防ぐ活動に力を入れており、子どものときからの生活習慣病予防についても取り組んでいます。



*注 生活習慣病…食生活などの生活習慣により引き起こされる病気

健康あきたかた 21
イメージキャラクター
「バランストリオ」

■ 食生活

○ 地産地消

広島県では、毎月19日を「食育の日」としています。安芸高田市でも、毎月19日（休みの時はその前後の日）の給食献立は、安芸高田市内や広島県内でとれた食材（地場産物）を使ったメニューになっています。

給食【平成26年4月18日の献立】

- ・山菜ごはん
- ・鶏肉のからあげ
- ・ゆず香あえ
- ・かきたま汁



＜上の給食に使われた地場産物＞

- ・米(あきろまん)
- ・たまご(向原町)
- ・醤油, 青ネギ(甲田町)
- ・とうふ, 鶏もも肉, ゆず果汁(高宮町)

安芸高田市の食育の目標

1. 朝ごはんを食べよう!!
2. 減塩しよう!!
3. 野菜をたくさん食べよう!!



安芸高田市内には、こんなにたくさんの地場産物があるんだ。



主な農産物マップ

○食の案内人

健康づくりについての正しい知識や技術を学習し、健康づくりの輪を広げていくことを目的とした活動が行われています。

安芸高田市食生活改善推進協議会会長 木原洋子さんの話

食生活の改善活動を通して、市民の健康づくりにつなげたいと考えています。協議会のメンバーで研修を積み、各地に出向いて食生活の大切さを広めています。学校や児童クラブで子供を対象にした料理教室や食の大切さを伝えるための授業もしています。

食べることは、健康な生活はもちろん、運動や勉強などのすべての活動につながります。食べることに関心を持ち、食べることの大切さを知ってもらいたいです。



○おすすめレシピ

安芸高田市では、生活習慣病を防ぐため減塩料理や旬の野菜を利用した料理などを「おすすめレシピ」として紹介しています。



第2回みんなの食育川柳上位10作品



■運動

保健医療課資料提供

楽しみながら健康づくりを行うきっかけづくりとして、「健康フェスタ」や「あるきんさい うごきんさい 運動」、「こまめに歩こう会」などのイベントが行われており、多くの市民が参加しています。

また、市内には、運動公園やプールなどの運動施設が数多くあり、体力づくりが行える環境が整っています。



吉田運動公園体育館



吉田温水プール



市民ウォーキングの様子

(保健医療課提供)

2 市民のねがいと議会

(1) 安芸高田市議会と予算

安芸高田市ではどんなまちづくりをしようとしているか調べましょう。

市民のねがいを実現するための仕組みはどうなっているのかな？



■安芸高田市議会

選挙で選ばれた18名の市議会議員によって安芸高田市の市議会は構成されています。

市議会では、市民の代表として、常に市民の目線で考え、市の仕事を進めていくために必要な次のようなことを話し合っています。

- 条例を制定，改正，廃止すること
- 市の予算を決めること
- 市の税金を決めること



安芸高田市議会（安芸高田市市勢要覧より）

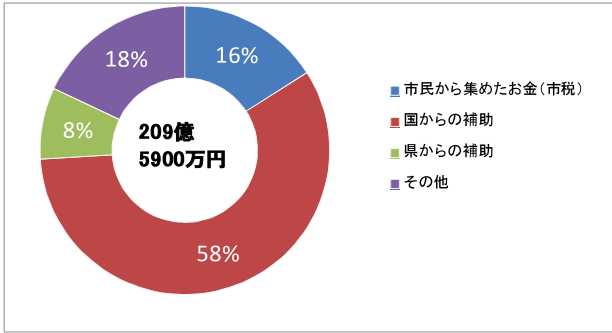
また、市の仕事が正しく運営されているかどうかチェックするために、仕事の状況を聞いたり、問題点を指摘したりすることも大きな仕事です。そこで、年4回の決まった会（定例会）と必要に応じて開かれる会（臨時会）で、いろいろな議題について話し合いを行っています。そのことを通して、安芸高田市のまちづくりをすすめています。

※ 条例とは、地方公共団体が自主的につくる決まり

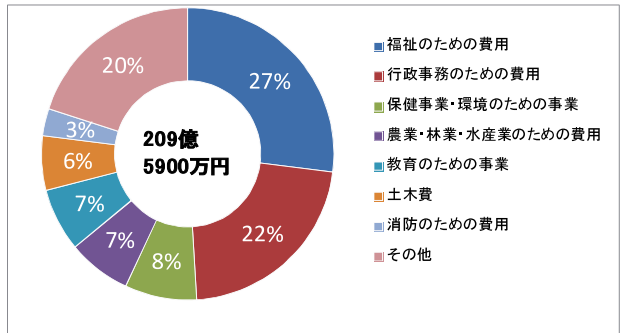
■安芸高田市の予算

安芸高田市は、「人がつながる 田園都市」を将来像に掲げ、人が集い育つまちづくり、安心してらせるまちづくり、地域資源を活かしたまちづくり、の3つのまちづくりに挑戦しています。自助・共助・公助を柱にした「市民総ヘルパー構想」をはじめとした、地域での活動を通じて隣近所と支え合っている社会を築こうとしています。また、公共サービスの維持向上を図るとともに、毛利元就を中心とした歴史的遺産や、神楽などの地域固有の文化を活用した知名度・集客力の向上、特産品開発等による地域活力の向上を柱にした「未来創造事業」等により、今後の市の「活力の芽」を育てていこうとしています。

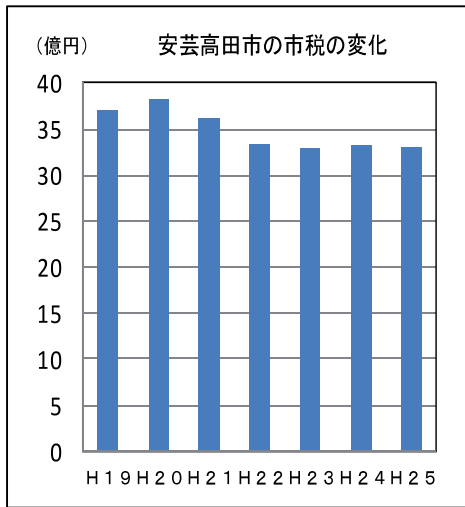
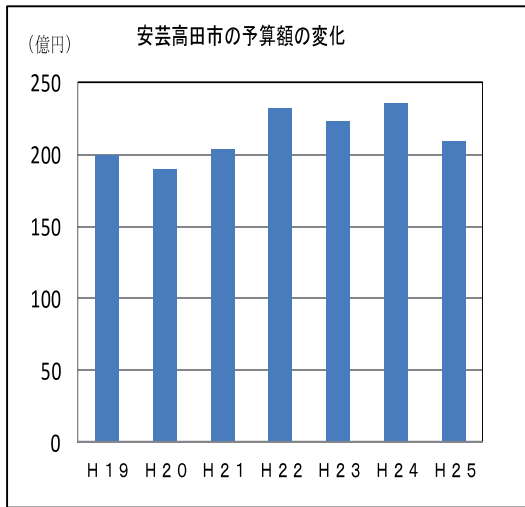
平成 25 年度収入



平成 25 年度支出



最近 7 年間の安芸高田市^{よさながく}予算額^{しぜい}、市税^{すい}、等の推移



左のグラフ見て気づいたことを話し合ってみましょう。



安芸高田市の^{よさな}予算は、どのように使われているのかな？

～平成 26 年度安芸高田市の予算～ 一部^{ぼっすい}抜粋 (1万円未満の数値は切り捨てています)

- 人と環境にやさしいまちづくり
 - ・生活習慣病重症化予防事業 2,213万円
 - ・健康づくり推進事業 1,091万円
- 快適でにぎわいのあるまちづくり
 - ・上下水道の整備の促進 5億7,810万円
 - ・地域公共交通の確保事業 1億1,789万円
- 心豊かで創造性に富んだまちづくり
 - ・みつや協育推進事業 1,335万円
 - ・国際理解教育推進事業 1,771万円
- 多彩な生産と交流のまちづくり
 - ・有害鳥獣捕獲・防護柵設置事業 4,372万円
 - ・新規就農総合支援事業 1,500万円
 - ・野菜等の産地化・ブランド化の推進 7,00万円



みなさんの学校や体育館等の施設・設備等を管理したり整備したりするために平成 26 年度はおよそ 5100 万円の予算がついていました。

3 だれもが^{しあわ}幸せに^く共に暮らせるまちづくり

赤ちゃんから^{こうれいしゃ}高齢者まで、だれでも^{しあわ}幸せに、よりよく暮らしたいと願っています。だれもが^{しあわ}幸せに^く共に暮らせるようにする取組にはどのようなものがあるでしょう。また、そうした市民の^{ねが}ねがいを^{じっげん}実現していくためにどんな取組をしているのでしょうか。

だれもが^{しあわ}幸せに^く暮らせるようにする取組には、どんなものがあるのかな。



(1) 市民のねがいと社会福祉

「^{ふくし}福祉」とは「多く人々の^{しあわ}幸せ」「^{ふくし}幸福」や「^{ゆたかさ}ゆたかさ」という意味の言葉です。すべての市民が^{しあわ}幸せに^く共に暮らすための^{えんじょ}社会的な援助や取組が「^{しゃかいふくし}社会福祉」なのです。安芸高田市でもだれもが^{しあわ}幸せに^く共に暮らせるように^{さまざま}様々な取組がなされています。

■ ^いだれもが生きがいをもって^くらせる社会に

吉田町竹原には^{しゃかいふくしほうじん}社会福祉法人（社会福祉のためにつくられた^じ事業所）^{ぎやうじょ}清風会があります。ここは、^{しょうがい}障害をもった方々のよりよい^{じぎょうだんたい}生活をめざしてつくられた事業団体です。

^{しょうがい}障害をもった方々が働く^{ぎじゅつ}クリーニング工場、クリーニングの仕事を^{くんれんしせつ}する技術を学ぶ訓練施設、働く人たちが生活を^{しせつ}するための施設などがあります。



クリーニング工場内の大型機械



クリーニング作業の様子

向原町長田にある社会福祉法人ひとは福社会では、障害を持つ仲間たちと「誰でもが共に暮らせる社会」を作るための発信を続けています。「ひとは」は文化の発信基地として、障害を持つ仲間たちと「誰でもが共に暮らせる社会」を作るための発信を続けています。また、ひとは館では、古代米を使ったミルク味のアイスを販売し、厚生労働省「至福のお届け」優秀賞、「ひろしまS-1フェスティバル」最優秀賞を受賞するなど多くの人々がその味を楽しんでいます。



ひとは福社会



縄文アイス

吉田町吉田にある特定非営利活動法人貴船（貴船ハウス）は、障害者の生活リズムや自立訓練を通じて社会復帰へのサポートを目的とした作業施設です。みんなで自動車部品の内職や安芸高田市社会福祉協議会の清掃作業、安芸高田市公用車の洗車作業等を通して、自立をめざし、一人一人が夢と展望を持って活動されています。



社会福祉協議会の清掃



安芸高田市公用車の洗車

■交流を通して社会福祉を学ぶ

美土里町にある社会福祉法人たんぽぽと美土里小学校4年生は毎年交流を行っています。美土里小学校では、総合的な学習の時間に地域の高齢者や障害者、福祉施設の方々との出会いを通して、一人一人がかげがえのない存在であり、誰もが幸せに生きていくために、人々が協力し合うことの大切さを考えています。交流を通して、「ふれあいの家たんぽぽ」は、車いすがすれ違えることができる廊下やコンセントの位置も車いすに乗ったまま使えるように高い位置につけてあるなど、障害のある方のことを考えた施設であることを学びました。

また、作業体験で空き缶の分別やソックスの切れ端を使ったスリッパづくりの材料の仕分けを一緒に行い、「ふれあいの家たんぽぽ」で作業をしておられる方の思いやみんなが安心して暮らせる町づくりについて考えています。



空き缶の仕分け作業の様子

(2) 高齢化社会への対応

安芸高田市の総人口は、近年急速に減少しています。このままの状態では、今後10年後には約26,000人に、25年後には約21,000人にまで減少することが予想されています。これは、現在の安芸高田市人口の約70%に当たります。

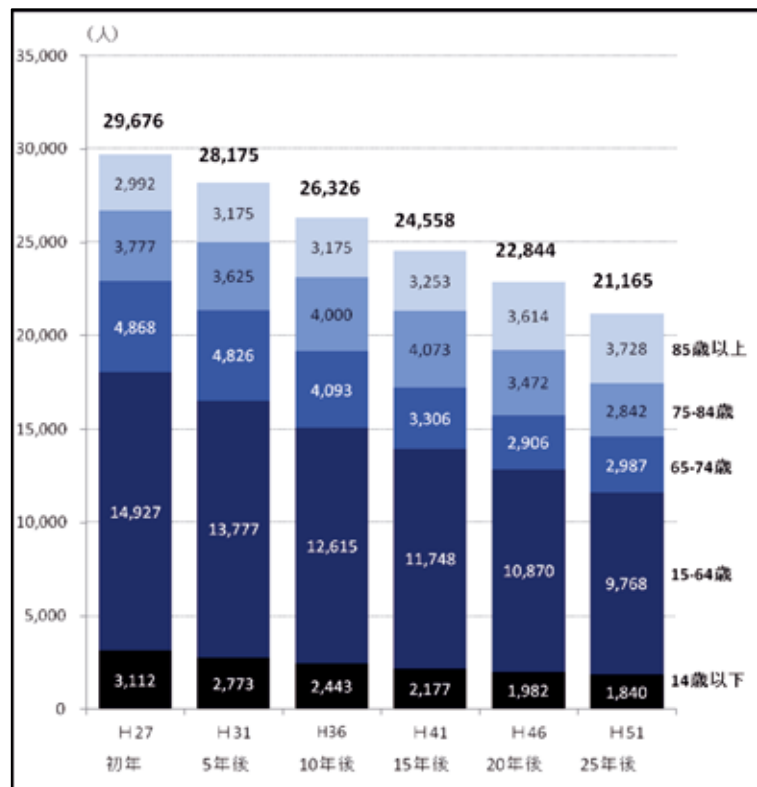
また、10年後の町別の人口では、八千代町、美土里町、高宮町、向原町において平成27年と比較して10%以上の人口減少が予想されています。

安芸高田市の高齢化率は年々高くなっています。平成32年には、39.0%（平成22年国勢調査結果データを用いた広島県推計人口で算出）になると予想されています。

これからの高齢化社会に対応していくために、高齢者が生き生きと生活することのできる支援のあり方を、真剣に考えていく必要があります。

安芸高田市では、高齢者の生きがいをづくりをすすめる、介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく、安心して生活できる安芸高田市にするために「市民総ヘルパー構想」を考え、取り組んでいます。

安芸高田市の推計人口



出典：国立社会保障・人口問題研究所 推計人口

安芸高田市の高齢化率

	人口	高齢者	高齢化率
安芸高田市	31,584	10,623	33.6%
広島県	2,852,728	675,567	23.7%

人口は、「住民基本台帳」（平成23年3月31日現在）による



高齢者とゲームをしている様子

■ 高齢者福祉を学ぶ

船佐小学校5年生は、高宮町原田にある特別養護老人ホーム「高美園」を訪問し、自分たちが育てたそば粉を使って、高齢者の方とそば打ち交流をしています。

吉田小学校では、吉田町吉田にある老人保健施設「のぞみ」の訪問を行い、高齢者の方の思いを考えたレクリエーションを行い、住みよい吉田プロジェクトの学習を行っています。

川根小学校では、高学年が企画した「まごころ交流会」を開催し、地域の高齢者の方や地域の方、保護者と交流しています。



船佐小学校 「高美園」との交流



吉田小学校 「のぞみ」での交流会

ぼくのまごころ交流会のめあては、「お年よりの人が楽しんで帰れるように、やさしく話す」でした。手あそびをしました。じこしょうかいのときに、名前とすきなたべものをおばあちゃんにゆっくり言いました。おばあちゃんも名前とじぶんのしゅみを言ってくれました。しゅみが草とりと言われました。

ぼくは、おばあちゃんにはたらきものだなと思いました。ほかの人にも、じこしょうかいの時やさしくゆっくり言いました。ぼくのめあてがたっせいできました。よかったです。



川根小学校 まごころ交流会

手あそびでは、いっしょに「かぼちゃのたね」「ちゃつみ」をしました。じゃんけんをしたら、まけてばかりでした。まけて、おじいちゃんとおばあちゃんのかたをたたきました。よろこんでもらえてよかったです。

川根小学校

2年生児童の感想



4 安芸高田市の文化と行事

(1) 伝えられてきた行事 ～安芸高田市の春夏秋冬～

安芸高田市は伝統的な祭りや行事がたくさん残っているまちです。これらの行事は、その行事にかかわる多くの人々の思いや願いを受け継ぎながら、長い時間をかけて、現在まで伝えられてきました。

安芸高田市で1年間に行われる行事について調べ、その行事に関わってきた人々のくらしや願いを考えましょう。



安芸高田市にはどんな伝統行事があるのかな。

春

行事	はやし田	田楽 <small>でんがく</small>	市入り祭 <small>いちぶきさい</small>
----	------	------------------------	----------------------------

● 豊作へ…願いを込めて…原田はやし田【高宮町】

高宮町の原田地域はもともと耕地の多くが厚い粘土と深い泥におおわれ、稲作の難しい土地でした。そのため、田植えの始まる時期には、神（さんばいさん）を招く神事を盛大に行うようになり、それが「安芸のはやし田」として国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。



原田のはやし田(高宮町)

安芸高田市に残る「はやし田」「田楽」

【高宮町】

原田のはやし田 川根のはやし田 佐々部のはやし田

【美土里町】

本郷のはやし田 中北のはやし田 生田のはやし田
桑田のはやし田

【甲田町】

大土山田楽

【八千代町】

八千代田楽

● 熱演！伝統のだんじり屋台

…市入り祭子ども歌舞伎【吉田町】

市入り祭は、毎年5月5日の市入りの日に行われる清神社のお祭りで、300年以上受け継がれてきました。神輿行列に「千歳山」「八雲山」の2台のだんじり屋台がお供して吉田の町をまわります。京都祇園祭の山鉾をかたちどったものといわれる屋台の上では地元の中学生による子ども歌舞伎が演じられます。



「郡山懐古三矢訓」を熱演する中学生

春

演じているのは地元吉田中学校の2年生です。歌舞伎の衣装や化粧はもちろん、セリフまわしや動きまで、すべてが初めての体験です。



行事

管絃祭
(おかげんさん)

御座船神事

獅子舞

盆おどり

● 巖島信仰「おかげんさん」…【安芸高田市全域】

むかし、安芸高田市の多くの地域は巖島神社を治める佐伯氏の領地でした。また中国地方を統一した毛利元就も巖島神社をととても大切に信仰していました。その影響で、海から遠く離れたこの地域でも、宮島で行われる「管絃祭」をかたちどった「おかげんさん」とよばれる祭りが各地に残っています。高宮町に伝わる亀尾山神社の「御座船神事」もその一つです。また、八千代町には巖島神社をまつる古い神社が残っています。

「管絃祭」

宮島の巖島神社を現在の形にした平清盛が始めたもので、都で行われていた「管絃遊び」(池や川に船を浮かべ管絃を合奏する遊び)を巖島神社の神事として行うようになったといわれています。



向原町長田地区の「おかげんさん」



高宮町川根地区の亀尾山神社
「御座船神事」



(安芸高田市歴史民俗博物館提供)

佐々井巖島神社

【八千代町佐々井地区】

市内でも有数の古い神社で、鎌倉時代初期にはすでに社殿が存在したと考えられています。本殿の中にある玉殿は5基あり、そのうち最も古いものは、神社本殿の形としては日本最古です。

● 無病息災を願う…「本郷の獅子舞」【美土里町】

毎年7月10日に近い日曜日に、神社の舞殿と氏子の家で舞われます。獅子に頭をかんでもらうと病気にかからず健康に長生きできるといわれ、縁起が良いとされています。「本郷の獅子舞」は、獅子のあごをはげしく打ちならす独特の獅子舞です。

安芸高田市に残る「獅子舞」

【美土里町】

本郷の獅子舞・横田の獅子舞

【吉田町】

男山神社の獅子舞



美土里町本郷の獅子舞

● 先祖に感謝を

…「盆おどり」【安芸高田市内地】

盆おどりは、お盆の時期に先祖を供養するために行われます。広場やお寺の境内の中央にやぐらを立て、やぐらの周囲を回りながら音頭にあわせておどります。



(安芸高田市歴史民俗博物館提供)

夏

みんなのおうちの近くで
やっている行事はないかな？



	秋		冬
行事	神祇 じんぎ	神儀 じんぎ	とんど

●秋祭りの伝統を伝える…「神儀」【安芸高田市内各地】

安芸高田市内各地に伝わる伝統的な秋祭りのやり方で、神社の秋祭りの昼に行われています。神儀のある神社では神儀当屋（当番）に当たった地区で早朝から準備をし、昼過ぎから行列を整えて神社に向かいます。「てんぐ」が行列を先導し、神社では「獅子」が舞い、「棒振り」と呼ばれる独特の舞を奉納します。

安芸高田市に残る「神儀」

【吉田町】

津々羅神儀舞・獅子頭神社神儀・埃ノ宮神社神儀

【八千代町】

佐々井厳島神社神祇

【甲田町】

春日神社神儀

【向原町】

国貞山神社神儀・鳴石山神社神儀



← 佐々井厳島神社神祇（八千代町）

↓ 春日神社神儀（甲田町）



（安芸高田市歴史民俗博物館提供）

秋



原田神楽団「大江山」

安芸高田市の神楽は迫力満点！秋になると市内各地のお祭りで上演されているよ。



●てんぴをあげる…「とんど」【安芸高田市内各地】

1月第2週に市内各地で行われます。田んぼや川原など広い場所で竹を組み火をつけます。燃え上がるととんどに書き初めをくべ、熱気によって高くのぼれば「書が上手になる」と言われます。これを「てんぴをあげる」と呼ぶそうです。火が落ち着いたころになると、正月にかざった鏡もちを焼きます。これを持ち帰って食べると、1年間病気にかからず、健康に過ごせると言われています。



とんどの様子

冬

安芸高田市の伝統的な行事には、それに関わってきた人々の思いや願いが込められ、大切に伝わってきました。みんなで受け継ぎ、次の世代へつないでいくことが大切です。

■安芸高田市の魅力を伝える

安芸高田市内各地には、近年、地域の活性化をめざしてはじまった新しい行事もあります。

新しく始まった行事にはどんなものがあるのかな。



神楽



神楽甲子園【7月】

第四回 高校生の神楽甲子園
ひろしま安芸高田



ほたるまつり in 川根【6月】



高宮大地の祭り【10月】



いっしんまつり
一心祭【7月】

美土里米舞まつり【10月】



安芸高田花火大会【8月】

八千代およりん祭【10月】



甲田わいわいまつり【10月】



きてみん祭土曜夜市
【7月】

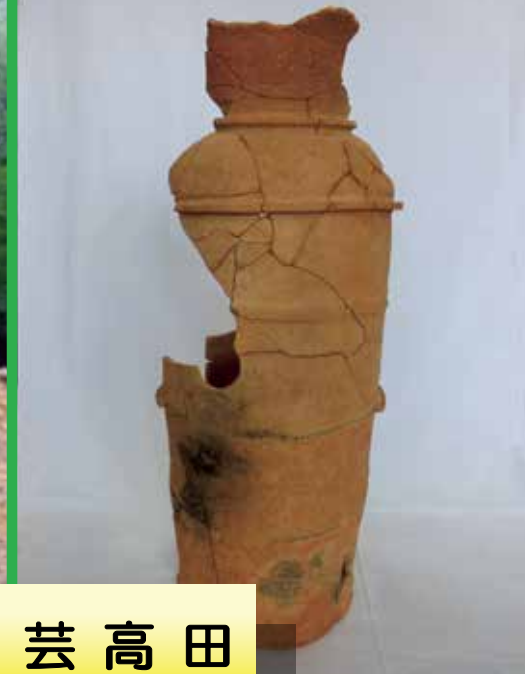


花しょうぶまつり【5月】



かたくり祭り【3~4月】

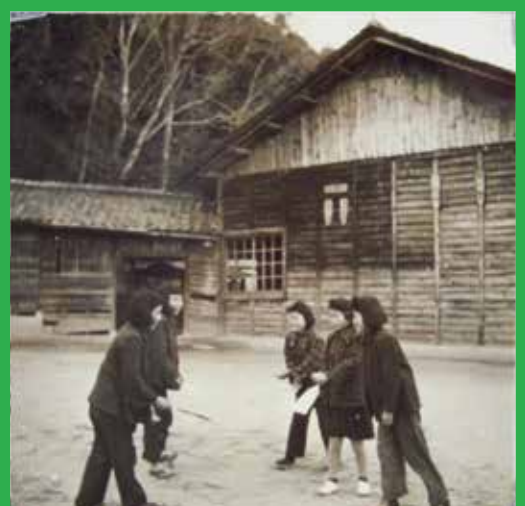
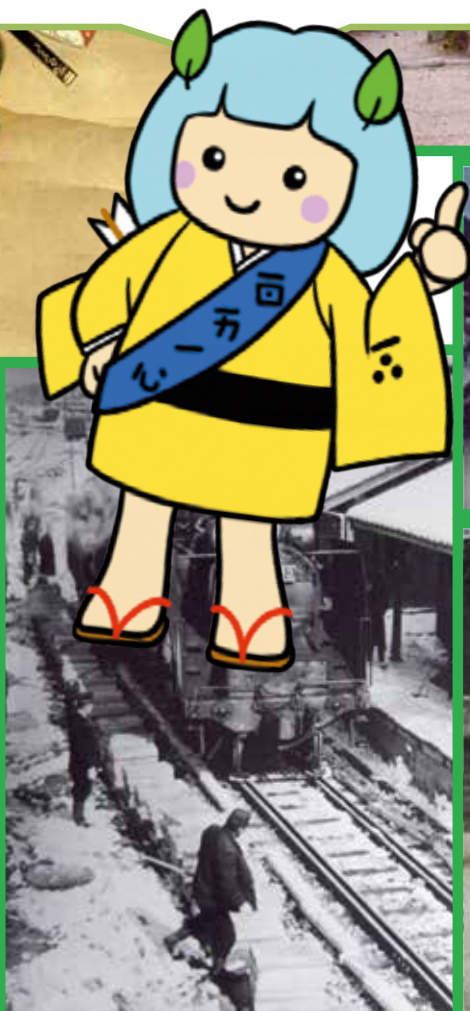
どの行事も各地域のよさや特色をいかしたもののばかりです。これらの行事をくわしく調べ、その地域で大切にされている文化や魅力を見つけましょう。



第4章 歴史発見！安芸高田

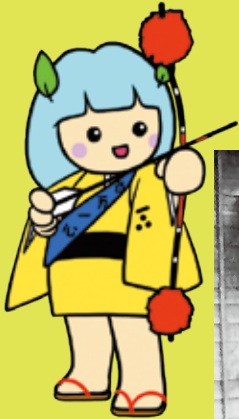


安芸高田市にはどんな歴史があり、今の私たちの生活につながってきたのか調べてみましょう。







右の年表は安芸高田の歴史をまとめたものです。わたしたちが今生きている時代から見ると、遠い昔の時代から人々はこの安芸高田の地で生活していたことがわかっています。安芸高田の人々がどのような暮らしをし、その暮らしが時代とともにどのように変わっていったのか学んでみましょう。



1 安芸高田歴史年表

日本のおもなできごと	<ul style="list-style-type: none"> ・戊辰戦争 (1868) ・大政奉還 (1867) ・ペリー浦賀に来航 (1853) ・享保の改革 (1716) ・島原の乱 (1637) ・大坂夏の陣 (1615) ・徳川家康、征夷大將軍になる (1603) ・関ヶ原の戦い (1600) ・豊臣秀吉、天下統一 (1590) ・本能寺の変 (1582) ・織田信長、室町幕府を滅ぼす (1573) ・キリスト教伝来 (1549) ・鉄砲伝来 (1543) ・応仁の乱 (1467) ・足利尊氏征夷大將軍になる (1338) ・源頼朝、征夷大將軍になる (1192) ・平氏滅亡 (1185) ・平清盛太政大臣になる (1167) ・平安京遷都 (794) ・平城京遷都 (710) ・大化の改新 (645) ・聖徳太子が摂政になる (593) ・邪馬台国の卑弥呼、魏に使者を送る (239) ・米づくりが日本各地でおこなわれるようになる ・石器や土器がつくられる ・採集や狩りによって生活する
------------	---

時代	旧石器	縄文	弥生	古墳・飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土・桃山	江戸
安芸高田のおもなできごと	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器が見つかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山大通院谷遺跡 (吉田町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・青迫遺跡 (甲田町) ・新迫南遺跡 (高宮町) ・杉の原遺跡 (高宮町) ・大迫遺跡 (八千代町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲立古墳 (甲田町) ・国司池の内遺跡 (吉田町) ・稲山墳墓 (四隅突出型墳丘墓) (吉田町) ・坂中組遺跡 (向原町) ・植谷遺跡 (高宮町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町中馬に寺院建立 (明官地廃寺) 	<ul style="list-style-type: none"> ・向原町長田に寺院建立 (正敷殿廃寺) ・高田郡・高宮郡内に荘園ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・祇園社 (現清神社・吉田町) 建立 (1325) ・佐々井厳島神社の玉殿つくられる (14世紀前半) 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山合戦 (1540・41) ・毛利元就誕生 (1497) ・毛利時親、安芸下向 (1336) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛利氏、周防・長門に滅封 ・毛利氏、広島城に本拠を移転 (1591) ・毛利輝元、郡山城の修築、城下の整備を指示 (1584) ・毛利氏、羽柴秀吉と講和 (1582) ・毛利元就死去 (1571) ・毛利氏、尼子氏を降伏させ中国地方を統一 (1566) 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山城跡の南麓に「御本館」が建てられる (1864) ・土生玄碩將軍家奥医師となる (1810) ・高田郡各村に社倉 (穀物倉庫) できる (1780) ・享保大飢饉。高田郡内に餓死者多く出る (1732) ・「安芸国高田郡図」完成 (1716) ・だんじり屋台始まる (1674) ・河野与三郎、「へらほりの池」を作る (1674) ・喉声忠左衛門、水路を完成させる (1665) ・吉田に御茶屋 (藩の接待所) 建つ (1720) ・上甲立村が三次支藩領となる ・三次支藩誕生 (1632) ・福島正則、安芸・備後を拝領 

2 原始・古代の安芸高田

安芸高田市にもたくさんの古墳こふんがつくられています。みなさんの町の古墳こふんを調べてみましょう。



どうして古墳こふんは、つくられるようになったのだろう。

(1) 稲山墳墓 (四隅突出型墳丘墓) 吉田町下入江



↑ 四隅突出型墳丘墓イメージ図
(出雲市史跡ガイドより)

吉田町下入江にある稲山遺跡いなやまいせきで見つかった稲山墳墓いなやまふんぼは、弥生時代後期やよいじだいこうきとみられる四隅突出型墳丘墓としゅつがたふんきゅうぼであることがわかりました。この型の墳丘墓ふんきゅうぼは、安芸高田市内では、初めてとなる発見です。

全国では、中国山地、山陰ほくりくちほう、北陸地方に100 墓以上が発見されています。県内では19 例目となるものです。調べてみると四

辺のうち、西側のようにすが明らかになりました。2ヶ所としゅつぶの突出部とその間の墳丘ふんきゅうの裾すそに石が並べてあり、斜面しゃに2～3段の石をはりつけてあったようすを見ることができます。

こうたちこふん
 (2) 甲立古墳 甲田町上甲立



航空写真 (安芸高田市HPより)



甲立古墳 後円部跡発出状況(上から)

こうたちこふん
 甲立古墳は、これまで菊山西側の尾根につくら
 れた柳ヶ城跡(戦国時代の国人領主：宍戸氏の城
 と伝わる)の一部とみられていました。

平成20年1月に前方後円墳であるということ
 がわかりました。その後の、測量や古墳から出た
 埴輪のようすからみて広島県でも数少ない大型
 の古墳とわかりました。甲立古墳が造られたのは、
 4世紀後半期でとても貴重な前方後円墳である
 ことから、平成22年1月には、安芸高田市史跡に
 指定されました。

さらに古墳の全体の様子をはっきりさせるた
 め、平成22年から4年間古墳をくわしく調べま
 した。調べた結果、古墳の斜面の葺石(古墳をお
 おっている石)は、全体的によく残っていて、後
 円部の頂上も含め保存状態はとてもよいことが
 わかりました。



甲立古墳予想図



甲立古墳出土家形埴輪調査風景

4世紀後半にも、甲立にはす
 でに人が生活していたね。



特に、後円部には大きく長方形に掘られた墓壇(木棺や石室がある穴)があり、この東側には、家形埴輪を並べた埴輪祭祀(神や先祖をまつた儀式)がうかがえる石敷遺構、それらの頂上の周りを埴輪で囲んであったことなどとても貴重な古墳のようすを確認することができました。古墳の全長(中心で計測)は、調査では約77mを確認しましたが、(県内第2位の大きさ・前期古墳に限ると県内最大)設計した大きさは80mをこえる古墳として造られています。また、古墳の段築は、後円部3段、前方部2段となっています。甲立古墳の特徴として埴丘やち密な埴輪の造り、家形埴輪を置く祭祀跡(神や先祖をまつた儀式跡)など畿内(奈良を中心とする近畿地方)で多くみられる古墳とよく似た古墳といえます。

■古墳全長：約77.5m

後円部径：約56m(最大長)、高さ：最大約15.3m・後円部7.4m

■段築：後円部3段・前方部2段

■出土遺物：円筒埴輪、楕円筒埴輪、朝顔形円筒埴輪

：家形埴輪・蓋形埴輪、短甲形埴輪 舟形埴輪

■古墳の時期：4世紀後半



家形埴輪の出土



葺石(古墳をおおっている石)のようすがわかります。

※墓壇 亡くなった人の遺体を埋葬するために掘った穴



あさがお えんどうはにわ
朝顔形の円筒埴輪の出土のようす

こふん 甲立古墳から出土したあさがお はにわ はへん
朝顔形埴輪の破片を集めて元の形に復元した写真です。



はにわ
後円部の周りに埴輪が並んでいた様子が見えます。



えんどうはにわ
円筒埴輪が出土している様子が見えます。

こふん 古墳は、ごうぞく 豪族などがほうむられただけでなく、はにわ 埴輪などの
ふくそうひん 副葬品もいっしょにおさめられました。

(3) 安芸高田市の古墳マップ



自分たちの町の古墳^{こふん}について調べてみましょう。

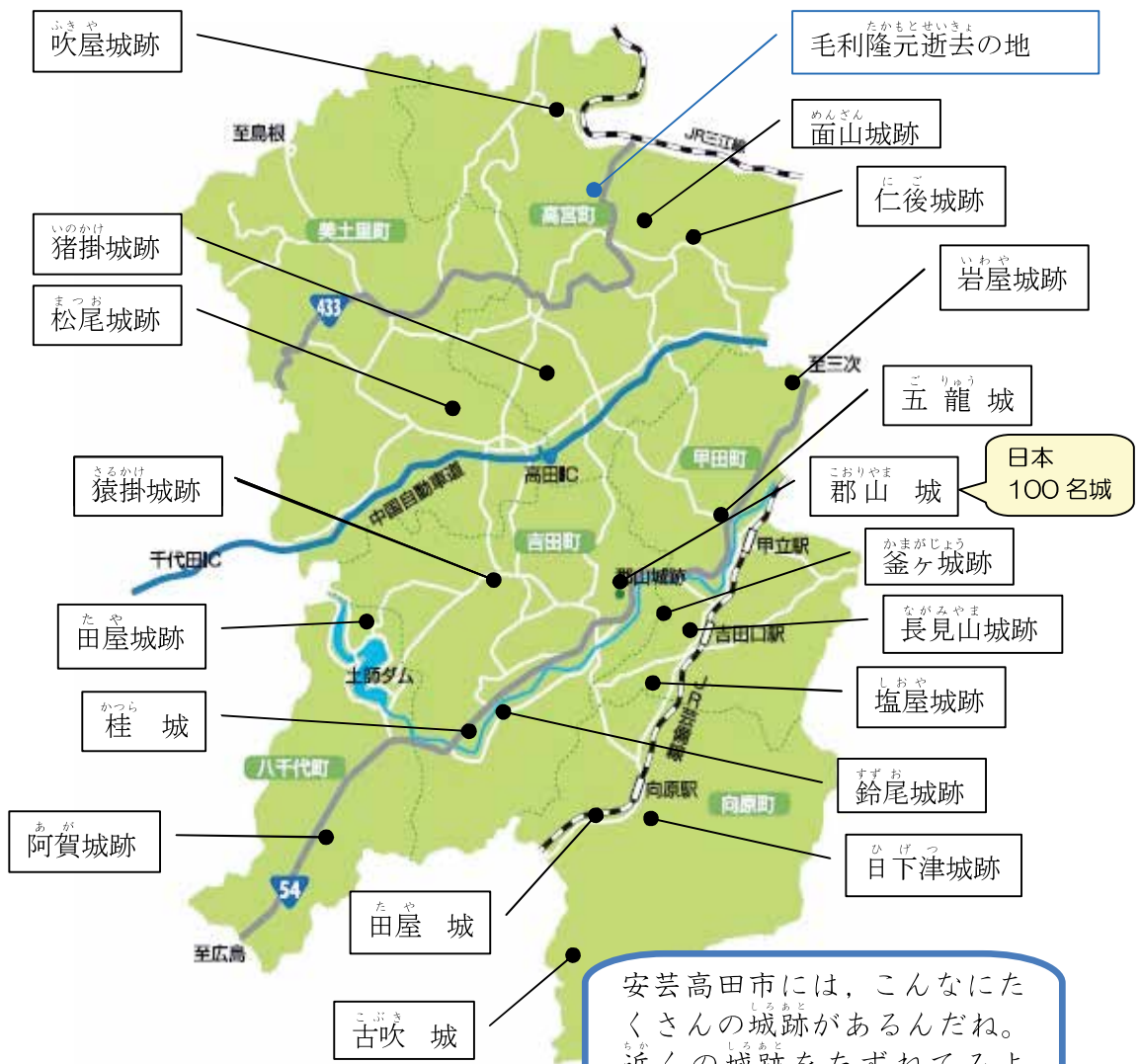


3 中世の安芸高田

日本中で武士による争いが行われていた時代、吉田町に一人の武将が誕生しました。後に中国地方全域を治めることになる毛利元就です。毛利元就はどのような生涯を送ったのでしょうか。毛利元就の生涯と戦国時代の安芸高田市の様子について調べてみましょう。



(1) 安芸高田市の城跡マップ



安芸高田市には、こんなにたくさんの城跡があるんだね。近くの城跡をたずねてみよう。

※毛利隆元逝去の地

毛利元就の長男隆元は、41歳の若さで急死しました。

※郡山城・毛利元就が生涯居城とした城です。

※鈴尾城・毛利元就が誕生した場所として伝えられています。

※猿掛城・毛利元就が27歳まで過ごした城です。



(2) もうりもととなり 毛利元就とういつの中国地方統一



毛利元就は「戦国の雄」とたたえられた戦国の武将です。1497年、安芸の国吉田（現在の安芸高田市吉田町）に生まれ、75歳で病死するまで200回以上におよぶ合戦を行い、中国地方を統一しました。

（安芸高田市歴史民俗博物館より）

<毛利元就年表>

年（数え歳）	出来事
1497年	毛利弘元の次男として誕生。
1501年（5歳）	母死去。
1506年（10歳）	父死去。
1511年（15歳）	元服。
1516年（20歳）	兄興元死去。その長男幸松丸（2歳）家督を継ぐ。
1517年（21歳）	初陣（有田合戦）に勝利。武田元繁を討ち取る。
1523年（27歳）	長男隆元誕生。 幸松丸死去。元就家督を相続し、郡山城入城。
1524年（28歳）	元就殺害計画がわかり、弟元綱を討つ。
1530年（34歳）	次男元春誕生。
1533年（37歳）	三男隆景誕生。
1534年（38歳）	穴戸隆家（五龍城）に娘をとつがせる。
1537年（41歳）	大内氏（山口）へ長男隆元を人質に出す。
1540年（44歳）	郡山合戦。
1542年（46歳）	大内氏の尼子攻めに従い出雲に向かったが、翌年敗退。
1544年（48歳）	三男隆景、小早川家の養子に入り、小早川家を継ぐ。
1545年（49歳）	妻妙久死去。
1546年（50歳）	長男隆元に家督を譲る。
1547年（51歳）	次男元春、吉川家の養子に入り、吉川家を継ぐ。
1553年（57歳）	隆元の長男輝元誕生。
1555年（59歳）	厳島合戦。
1557年（61歳）	大内氏を滅ぼす。 隆元、元春、隆景に「三子教訓状」を与える。
1562年（66歳）	石見を平定し、石見銀山を手に入れる。
1563年（67歳）	長男隆元急死。輝元が家督を継ぎ、元就が後見人になる。
1566年（70歳）	尼子氏降伏。中国地方を統一する。
1571年（75歳）	郡山城で死去。

注) 家督…一家の主としての権利 元服…大人として認められること

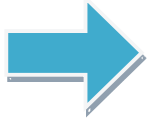
せいりよくぶんぶ うつ か
勢力分布の移り変わり



1523 年ごろ



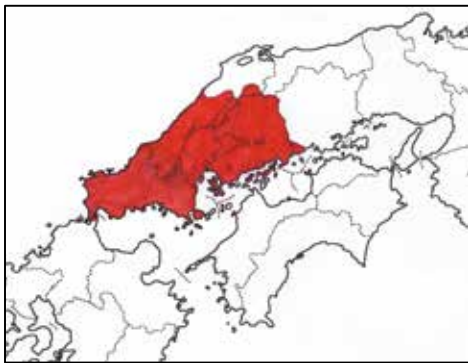
1530 年ごろ



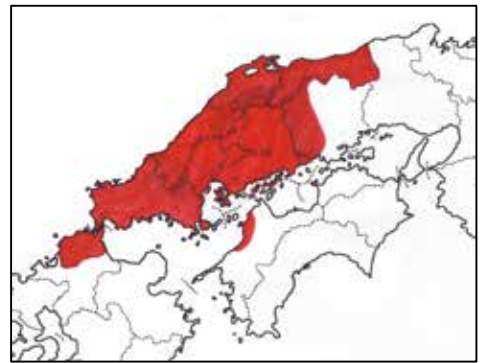
1541 年ごろ



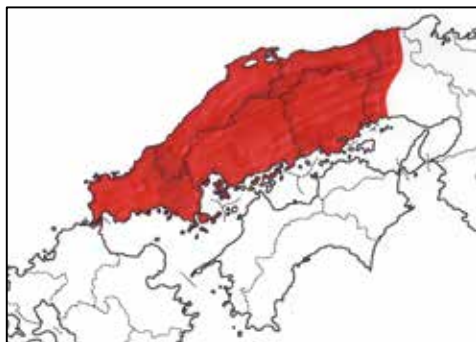
1554 年ごろ



1557 年ごろ



1569 年ごろ



1578 年ごろ

もとなりしご おだのぶなが こうせんちゅう
 (元就死後，織田信長と交戦中)



わずか^{いちだい}一代でこんなに勢力を広げたんだね。どうやってこんなに大きくしたのかな？

おも かつせん ■ 主な合戦

全国で争いが行われていた時代、毛利元就は、領土を広げるためにさまざまな手を打ち、領土を拡大していきました。



① 有田合戦

1517年、安芸（現在の広島県）の守護だった武田元繁は5000余りの兵を率いて有田城（北広島町）を攻め、さらに毛利領の多治比にも攻め込んできました。そこで、当時多治比の猿掛城主だった元就は、1000余りの兵で武田軍と戦いました。数の上では圧倒的に不利であった元就ですが、弓矢の一斉射撃で敵の大將である武田元繁を打ち取って勝利しました。この戦いは元就にとっての初陣（初めての戦い）です。捨て身の戦法で大軍の大將を打ち取ったこの合戦は、織田信長が桶狭間で今川義元の大軍を打ち破った奇襲戦法にも似ているので、「西国の桶狭間」とも言われています。この戦いにより、元就の名前は広く安芸一円に広がりました。

② 郡山合戦

1540年、出雲の尼子詮久（後に晴久）が3万の大軍を率いて元就のいる郡山城を攻めてきました。迎え撃つ元就の兵力は2400、尼子軍の12分の1にしかすぎませんでした。しかし、元就は見事な作戦で幾度となく尼子軍を撃退し、大内氏の助けも借りて、5か月後に尼子軍を出雲に撤退させました。

③ 厳島合戦

大内義隆を討って大内氏の実権を握った陶晴賢と毛利元就は、いつしか対立するようになりました。晴賢が大軍を率いて攻めてくるのは目に見えています。これを迎え撃つ毛利軍は4000あまりで、まともに戦えば勝ち目がありません。そこで、元就は、陶晴賢の大軍を狭い厳島におびき寄せるために、厳島におとりの城（宮尾城）を築きました。元就の作戦にまんまとはまった晴賢は、2万の大軍を率いて厳島に上陸し、厳島神社周辺に陣を張りました。

晴賢に気付かれないように暗がりの中、ひそかに海を渡った元就は、包ヶ浦に上陸し、山を越えて陶軍に奇襲をかけました。同時に海からも三男隆景の部隊が攻撃を行い、5倍の敵を見事に打ち破りました。

ひゃくまんいっしん ひ 百万一心碑



毛利元就もうりもととなりが郡山城こおりやまじょうを大きくするとき、人柱ひとばしらにかえて石いしに「百万一心ひゃくまんいっしん」と彫ほらせ、それを埋うめたと伝えられています。郡山城跡こおりやまじょうあとにあります。

百万一心ひゃくまんいっしんを分わけると「一日一カー心いちにちいちりきいっしん」とも読よめ、一日一日いちにちいちにちを、一人一人ひとりひとりが力を合あわせて、心を一ついっしんに協同一致きょうどういっしして事ことを行うことを教えたものといわれています。

みつや おしえ 三矢の訓

元就もととなりが、ある日、長男たかもとの隆元・次男もとはるの元春・三男たかかげの隆景の3人を枕許まくらもとに呼び出しました。元就もととなりが、まず1本の矢やを取とって折おって見せると、簡単かんたんに折おることができました。続いて矢やを3本たば束ねて折おろうとしましたが、これは折おることができませんでした。元就もととなりは、「1本の矢やでは簡単かんたんに折おれるが、3本たばにまとめると容易よういに折おれない。兄弟3人がよく結束けつそくして毛利家もうりけを守まもって欲しい。」と告つげ、息子むすこたちは、必ずかならこの教おしええにしたがうことをちかいました。これが「三矢の訓みつや おしえ」といわれているもので、兄弟の結束けつそくを説いた「三子教訓状さんしきょうくんじょう」がこの話のモデルになっているといわれています。



もうりもととなり 毛利元就公像

私の姿を見たことはありませんか？みなさんが合宿などで利用する安芸高田少年自然の家のすぐ近くに 있습니다。



このお話は、^{もとなり}元就が郡山城を広げる際に人柱にかえて「百万一心」と彫らせた大きな石を埋めたと語り伝えられているものです。

^{もとなり}毛利元就がまだ12歳で^{しょうじゅまる}松寿丸と呼ばれていたころのこと、^{けらい}家来といっしょに^{いつくしま}巖島（宮島）の^{かんげんさい}管弦祭に行きました。そこで、いよいよ祭りが始まろうとしたその時、「かえしてよう、おっかさんをかえしてよう。」という小さな女の子のさけび声が聞こえてきました。泣いているわけを聞いてみると、^{とちゆう}母と二人で旅をしている途中にとりなりの国の城を築いているそばを通りかかった時、^{たの}母と娘がとらえられ、^{しろづく}城造りの人柱にされることになったそうです。母は、娘だけは何とか助けてほしいと手を合わせて頼み、自分だけが人柱となって埋められてしまったということでした。^{しょうじゅまる}松寿丸も幼い時に父と母を失っていました。だからきつといっしょに泣きたい気持ちになったのでしょう。その女の子を自分の城に連れて帰りたわってやるように家来に言いつけました。



それから、15、6年あまりの年月がたちました。松寿丸は^{もとなり}毛利元就と名乗って、吉田町にある郡山城の^{とのさま}殿様になりました。城を大きくすることになって、^{いしがき}石垣を築くことになったのですが、^{ほんまる}困ったことがおきました。本丸の^{いしがき}石垣が何度築いても崩れるのです。すると、「人柱を入れなければいけない。」という声がささやかれるようになりました。そのころのならわしとして、大きな工事には人柱をたてることが行われていたのです。城を築いたり土手をつくったり橋をかけたりするのに、すんなりと一度でできればよいのですが、できないときにはきまって人柱という言葉がささやかれました。うっかり言い出して、わが身を埋められる者もありました。何日の何時に通るかかった者と決めて待っていることもありました。通りかかった旅の者をとらえて埋めることもありました。郡山城は何度も^{くず}石垣が崩れるので、工事の責任者（奉行）は人柱を埋めることに決めました。選ばれたのは、あの時の娘です。「お殿様に助けていただきました身の上にござります。あのままで捨てておかれましてなら、どこかでのたれ死んでおりました。喜んで人柱になります。」娘はそう言いました。奉行からこのことを聞いた^{もとなり}元就は、「明日、かわりの者をつかわすゆえ、あの娘を人柱にたててはならぬ。」と言いました。奉行は、かわりの者とはだれであろうと思いながら、殿様の前をさがりました。

次の日、^{もとなり}元就は「百万一心」と書かれた紙を奉行にわたしました。「この文字を石にほって、人柱のかわりに埋めよ。人の命は^{とうと}尊いものだ。人柱などもってのほかのこと、心を合わせ、力を合わせてことにあたれ。」と教えました。

郡山城もたち、^{もとなり}元就は、中国地方一の大名になりました。この「百万一心」の石と同じように造ったものが、^{もとなり}現在元就の墓所にたっています。



4 きんせい きんだい 近世・近代の安芸高田

みなさんの住んでいる町の様子や人々の暮らしのうつりかわりについて調べてみよう。



(1) 安芸高田市の移り変わり

関ヶ原せきがはらの戦いの後、江戸時代になり、中国地方をおさめていた毛利氏もうりは周防・長門すおう ながと（今の山口県）に移されました。その後、広島藩ひろしまはんがおさめることとなった高田郡は、広島湾沿いの地域と石見・出雲いわみ いずも（島根県）を結ぶ交通の重要な場所となりました。また、広島近郊ひろしまきんこうの農村地帯として発展し、一番多いときには、高田郡には 61 か所もの村がありました。

その後、明治22（1889）年4月市町村制の実施により高田郡内の59か村がっぺいが合併し、26か村となりました。

明治32（1899）年からは郡制ぐんせいがしかれ、大正15（1926）年まで吉田ぐんやくしよに郡役所が置かれました。昭和時代になると戦前戦後をとおして何度も合併・編入へんにゆうしたり、分けられたりを繰り返したのち、昭和48（1973）年からは吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町の6町となりました。そして平成しちようそんがっぺいになり、さらに市町村合併により、平成16（2004）年3月1日に高田郡6町が合併して、広島県で14番目の市である「安芸高田市」が誕生しました。

ぐんやくしよ
郡役所の写真です。役所の建物は、吉田町の西土手にありました。みなさんの町には、いくつ村がありましたか。調べてみましょう。



高田郡役所

高田郡役所（吉田町）

■交通の移り変わり



昭和 33 (1957) 年の甲立駅
(安芸高田市歴史民俗博物館提供)

当時は、バスや鉄道が主な交通手段でした。駅は貨物列車や鉄道を利用する人々でにぎわっていました。

鉄道は、大正 4 (1915) 年に広島～三次間に芸備線が開通しました。芸備線の開通により鉄道でたくさんの荷物が運ばれるようになりました。

上の写真は、甲立駅(今の JR 甲立駅)に貨物列車が着いた写真です。駅ができたことによって甲立駅のまわりには、人や商店が集まるようになりました。

地域の人から鉄道やバスが通るようになったころのようすをインタビューしてみましょう。



江戸時代、明治時代の交通といえば徒歩と川船によるものでした。

このころの出雲街道(今の国道 54 号)では、人が荷物を荷車で運んでいました。江の川(可愛川)では、川船がさかんに通り、たくさんの荷物を運んでいました。

しかし、大正時代になると運送は、荷車・荷馬車から貨物自動車、オート三輪、乗合自動車(バス)に変わりました。



芸備線が開通した大正 4 (1915) 年
(安芸高田市歴史民俗博物館提供)

■商店街のうつりかわり



昭和 31 年ごろの吉田町商店街（安芸高田市歴史民俗博物館提供）

昭和 40 年代に入ると日本は高度経済成長こうどけいざいせいちょうの時代むかを迎えました。

安芸高田市内でも木造の校舎や役所もコンクリートの建物に建てかわってきました。商店街も変わり、看板かんばんや照明しょうめいも新しくきれいになり、たくさんの人でにぎわうようになりました。

しかし、昭和 50 年代になるとどの家庭でも車で出かける時代になりました。安芸高田市のとなりである三次市や広島市に大型店ができるようになると、商店街のようすも変わってきました。



商店街の移り変わりについてみなさんの町でインタビューなどをして調べてみましょう。

(2) ダム建設で水没した土師

昭和 40 年代に入り、江の川の洪水調節、広島市とその周辺の町へ飲料水いんりょうすいを送るために八千代町土師こうずいちょうせつにダム建設が計画されました。

ダムの建設けんせつには、8 年の期間と 100 億円の建設費をかけ、昭和 49 (1974) 年に完成しました。土師ダムに水没した家は、203 戸、田や畑えんていは約 100 ヘクタールです。ダムの堰堤は、高さ 50 メートル、長さ 330

メートル、総貯水量^{ちよすいりょう}4,730万トンで広島県最大のダムです。

このダムのおかげで洪水によって川が氾濫^{はんらん}することも少なくなりました。



土師ダム

今では、ダム湖周辺の公園も整備され、春は桜、秋は紅葉と多くの観光客が訪れています。また、毎年8月には安芸高田花火大会が開催され多くの人でにぎわっています。

(3) 昭和 20～30年代のころの子どもの遊び

昭和 20 年代、農家では和牛や馬を飼って農耕に利用していました。^{のうこう}
^{のうはんき}農繁期には、家族総出で農作業をしていました。学校は、一週間くらの^{のうはんき}農繁期の休みがあり、子どもたちも農作業を手伝っていました。

米を収穫^{しゅうかく}した後は、麦を植えていました。ふだんから子どもたちは草刈り、牛の世話、すい事、子守りをするのはあたりまえのことでした。

今のよう^{のうこう}に物がたくさんある時代ではないので主食は、麦ごはん、みそやしょうゆは自分の家で作っていました。子どものおやつは、柿^{かき}や栗^{くり}など自分の家の庭や山になる果物などでした。

子どもたちは、いつも里や野山で遊び、遊ぶ道具を作って遊んでいました。そのころの子どもの遊びは次のようなものがありました。



昭和 30 年ころの川遊びの様子
(安芸高田市歴史民俗博物館提供)



当時は、学校にプールはありません。子どもは、川で水泳や水遊びを楽しんでいました。



昭和28年ころの子どもの遊びの様子
(安芸高田市歴史民俗博物館提供)

チャンバラ 戦争ごっこ 探検
ごっこ 川遊び 雪遊び すもう
野球 パッチン まりつき
ままごと 羽子板

また、子どもたちはお祭りや花田植え
など地域の行事をととても楽しみにして
いました。

子どもたちの遊びや生活に
ついて調べてみましょう。



(4) 自然災害に見まわれた安芸高田市

■大雨による洪水被害 昭和33(1958)年7月



五龍山から五龍橋をのぞむ(甲田町上甲立)



増水した多治比川(吉田町吉田)

昭和33(1958)年7月に安芸高田市は、大雨による洪水に見まわれ
ました。上の写真(左)は、甲田町上甲立を流れる本村川がはんらん
して付近が浸水したようすです。写真の中央には、当時の甲立中学校
と甲立小学校校舎とグラウンドが水につかっている様子が写ってい
ます。上の写真(右)は、吉田町の多治比川がはんらんした様子です。

安芸高田市は、土師ダムができるまで台風や大雨による洪水被害に
あうことがいく度となくくり返されました。

また、昭和47(1972)年7月にも、これまでにない集中豪雨が安芸
高田市を襲い、尊い命が失われるほどの大災害となりました。

■昭和38（1963）年豪雪^{こうせつ}



昭和38年豪雪 向原町有留の様子
安芸高田市歴史民俗博物館提供



昭和38年豪雪 高宮町川根の様子
安芸高田市歴史民俗博物館提供

みなさん、安芸高田市にもこんなに大雪が降りました。雪の重みに家が倒れたり、交通が途絶えたりするなど大きな被害が出ました。



（5）東京オリンピック聖火ランナー 国道54号を走る^{せいかが}

今から50年前、日本で東京オリンピックが開催されました。その聖火リレーが国道54号を通りました。東京オリンピックの20日前の9月21日、8時25分に広島県庁を出発し、島根県赤名トンネル入口に16時56分に到着する計画でした。八千代町は、午前10時45分に聖火を受け取り、当時の聖火ランナーと一緒に八千代町立八千代中学校の生徒120人が1区間20人ずつ6区間走ったそうです。聖火リレーは、スタート時間が分単位で決められており、そのために毎日のようにあぜ道を走り、20人で列をそろえて練習を繰り返したそうです。

昭和39（1964）年9月21日 国道54号（八千代町）の様子



安芸高田市歴史民俗博物館提供



山本絹江さん提供



山本絹江さん提供

安芸高田市八千代町うどん店経営 山本絹江さんの話

「2020年に開催される東京オリンピックの聖火リレーがあれば、当時の同級生と5分でいいから走りたい。」と再び日本にやってくる聖火を心待ちにしています。伴走時の写真を店に掲げ、当時の八千代中学校の生徒や沿道の応援の様子を町内外の人に伝えています。ぜひ、見に来てください。

第5章 郷土の開発・文化の発展



安芸高田には郷土の開発に尽くした人やふるさとに名を残した先人たちがいます。その功績^{こうせき}について学びましょう。



1 郷土の開発・文化の発展

安芸高田には、郷土のために尽くした人たちがや安芸高田に生まれ名を残した先人たちがいます。歴史の中に刻まれた先人の成し遂げた働きや成果を調べてみよう。



(1) 「土師に水路を拓く」咽声 忠左衛門 (八千代町)

八千代町に伝わる言い伝えです。

江戸時代、八千代町上・中土師地区は川が土地よりも低いところを流れていたため、田畑に利用できませんでした。このため、水不足で米もできず、人々は大変困っていました。

中土師に住む忠左衛門は、貧困を救うため「江の川」の水を引くことを思い立ち、熱心に村人を説得し、1662年より用水路の工事に取りかかりましたが、なかなかうまくいきませんでした。手伝っていた村人も見切りをつけ、自分の田を売ってまで工事を続ける忠左衛門をだれも相手にしなくなりました。

さらに時の代官からは、「人心を惑わす不届き者」としてとらえられ、手かせ、足かせの他、首かせまで科せられました。その後、足かせは許されたものの、首かせをつけたままでも、忠左衛門は意志をまげず、たった一人でノミとツチをもって工事を止めませんでした。



農民の忠左衛門には設計も測量の知識もなく、ましてや現在のよう
に機械もない時代に、あきらめずに400メートルもある絶壁の「鼻ぐ
り岩」に立ち向かいました。山に登って霧を観察したり、夜にたいま
つをつけて土地の高低を調べたりして工事を続けました。二度目の夏
をおかえるころには、首かせや汗、けずる石の粉などで首がすり切れ、
咽がつぶれてしまいました。そのため、村人は「咽声忠左衛門」と呼
ぶようになりました。

工事を始めて3年、最後にはとなり村の庄屋からの手助けもあり、
命をかけた難工事は1665年完成しました。長さ6キロメートル、幅
1.8メートル、深さ0.75メートルの用水路に水が流れ、50ヘクタ
ルの水田を潤すことができました。近隣の村は干ばつで米の収穫がな
い年も、中土師の村では豊作が続きました。

村人は今までの仕打ちを恥じ、改めて恩人として忠左衛門を尊敬
し、その功績をたたえて石碑をつくりました。350年以上たった今も、
土師地区の恩人として「咽声神社」に奉られています。

また、1994年土師ダムの公園を整備する際にも、忠左衛門の遺徳を
しのび、公園の名称を「土師のどごえ公園」と命名しました。



のどごえ
咽声神社 (編集委員撮影)



はじ
土師のどごえ公園 (編集委員撮影)

かつての安芸高田市では、人々のくらしを守るためにたく
さんの人々が力をつくしました。その思いは今でも大切にさ
れているんだね。



(2) 「へら堀りの池」(吉田町)

吉田町新町うらに、「へら堀りの池」のあとがあり、その場所に記念碑がたっています。

江戸時代、この地域には年々災害が起き、農民や町人は苦しんでいました。そこで、当時、豊かな商人であった竹野屋河野与三郎が人々を救うために立ち上がりました。庭に*泉水を作ろうというのです。道具は竹べらと直径20 cmくらいのザル。竹べらで掘り、ザルに土を入れて運ぶのです。この小さなザルを人々は「七文テンギリ」と呼びました。それはこのザルに一杯土を運ぶと七文というお金になったからだということです。飢饉の間、人々はここで働き、お金を得ることで救われることになりました。 ※泉水…泉の水、または庭園に造った池



「へらほりの池」版画 江戸期 (安芸高田市歴史民俗博物館提供)

また、「だんじり屋台」を吉田ではじめたのも、河野与三郎の功績であったといわれています。この「だんじり屋台」は、現在まで吉田で行われる5月5日の市入り祭として伝承されています。

米づくりが中心だった昔の生活では水を確保することが重要な問題でした。大切な水を確保するために力をつくした人々について調べましょう。



(3) 「尾原かづきと論山堤」(向原町)

大土山の西のふもとの山あい
に「小反田池」という広い沼地
がありました。

300年ほど昔、この付近の芝
草刈りや、米作りに使う水源の
取り合いで上小原村（現甲田）
と坂村（現向原）との間でしば
しば論争がありました。それで
この地域を「論山」と呼んでい
ます。坂村にはこの水源がどう
しても欲しい理由がありまし

た。坂村の尾原地区は川から離れたところにあり、毎年水不足による
不作が続きました。そのため村全体で尾原地区の*年貢をかたがわり
する状態でした。これを「尾原かづき」といいます。そこで、1713
年、坂村庄屋・喜久武右衛門が「小反田池」を何十倍にも広げて広さ
2.6haの「論山堤」を築きました。そして、堤から流れる水を尾原地区
まで送るために、難工事のすえ、約3kmの新溝（水路）を完成させ
ました。さらにその水を尾原で受けるための池を掘りました。これが
「尾原池」です。これによって尾原地区の水不足は救われ、「尾原か
づき」の状態は解消されたのです。

「尾原池」の中島にある墓は、一大事業をなしとげた庄屋のものと
伝わっています。



現在の「論山堤」(編集委員撮影)



現在の「尾原池」(編集委員撮影)



尾原池中島にある墓
(編集委員撮影)

*年貢…明治時代まで続いた税の一つ。お金ではなく米で納めたため、「年貢米」とも呼ばれる。

2 文化の発展につくした人々

(1) 土生玄碩 ～日本初の開眼手術を行った眼科医～

【1762～1848 吉田町】

江戸時代後期、安芸国高田郡吉田村の眼科医の長男として生まれました。眼科としての技術や知識を得るため、京都で漢方医学を学び、そこで、腑わけに参加し、眼球の仕組みを知るため、日本で初めて眼球の解剖をおこないました。

さらに眼科医学向上をめざし、江戸の蘭学医杉田玄白のもとでオランダ医学を学びました。

1803年、広島藩の藩医に取り立てられ、江戸で藩主の娘の眼病を完治させ、名声が広まりました。さらに1810年（江戸後期）には、徳川将軍の侍医に抜擢されました。

オランダ医師シーボルトが来日した際には、多くの人の病気を治すため、あえて法をやぶり、徳川家の葵の紋服を与えて、眼科手術に必要な薬についての知識を得、投獄されたこともありました。

このように、玄碩はたゆまぬ努力をし、多くの人の治療を行いました。こうして、我が国の白内障手術は一段の進歩をとげました。

また、土生玄碩がモデルとなった舞台や映画「男の花道」もつくられています。



土生玄碩

安芸高田市歴史民俗博物館提供



土生玄碩生家（吉田町）



土生玄碩碑（吉田町）

(2) ^{いしばしまさくに}石橋正国 ^{とうしょう}～刀匠として生きる～【1831～1896 美土里町】

石橋家は、^{いわみ}石見の^{いちき}国市木（^{おおなん}島根県^{おおなん}邑南町）から^{がた}安芸の^{がた}国山^{がた}県郡へ移り住んだ^{いしばしまさなが}石橋正長^{そせん}を^{とうしょうか}祖先とする^{とうしょうか}刀匠家です。

正長の子^{まさつな}ども正綱が1823年高田郡北村（現在の安芸高田市美土里町北）に移り住みました。

正綱の長男^{まさくに}正国と二代にわたり^{とうしょう}刀匠として活躍しました。

明治になって刀を身につけることが^{まさくに}禁止され、正国は長男とともに農具を作る仕事にたずさわりました。石橋家の^{かま}鎌は「^{くろたきかま}黒滝鎌」として^{ひょうばん}評判となり、遠く九州・四国まで広く鎌が売れたといえます。

また、^{ひろしまはん}広島藩の^{ごよう}御用^{かじ}鍛冶であった^{いしばしまさみつ}石橋正光（正国のおじ）が持っていた^{まさくに}文書を正国が書き写したものをはじめ、石橋家が^{かじ}代々の^{かじ}鍛冶を仕事として引きついできた^{いちれん}一連の^{しりょう}資料を伝えています。

この資料は、江戸末期の^{とうこう}刀工のようすを今に伝える^{きちょう}貴重な資料として高く評価されています。

下の刀の写真は、^{いしばしまさくに}石橋正国の作品です。



石橋 正国（石橋家肖像図）
安芸高田市歴史民俗博物館提供



表銘「^{いしばしまさくに}石橋正国」



^{けいおう}慶応元年作の刀（^{かたな}個人蔵）

(3) 三上義夫～「和算」を世界へ紹介した数学史家～

【1875～1950 甲田町】

明治8(1875)年に甲立村(現甲田町)の三上助左衛門の二男として誕生しました。中学校を卒業後仙台第二高等学校に入学しましたが目の病気になる、退学しました。その後、東京で和算史の研究をはじめ、英文で日本と中国の数学史を発表。「世界的数学史家」への大きな一歩となりました。また、全国をまわり、江戸時代の和算家について調査しました。大正10(1921)年に発表した「文化史上より見たる日本の数学」は大きな反響を呼び、昭和4(1924)年には、東洋人で初めて国際科学史委員会の通信会員に選ばれました。著書、発表論文は200点以上。戦後は、甲立に帰り、理窓院(寺院)の一室で生活を送りました。昭和24(1949)年「関孝和の業績と京阪の算家、ならびにシナ算法との関係比較」と題した論文で東北大学から理学博士の称号が贈られました。昭和33(1958)年11月、76才でこの世を去りました。昭和32(1957)年甲立中学校(現在は甲立小学校)に功績をたたえ、顕彰碑が建てられています。



三上 義夫



顕彰碑 (編集委員撮影)

甲立小学校のグラウンドに建てられています。



(4) ^{わだかせつじ} 和高節二 ～野に生きた画家～【1898～1990 向原町】

明治 31 (1898) 年，広島県高田郡長田村 (現・向原町長田) に生まれました。初めは洋画を勉強し，^{じがぞう} 自画像や^{ふうけいが} パステルの風景画などを雑誌の懸賞に応募して入賞することもありました。絵を描き始めたころは肖像画家になりたいという気持ちもありましたが，^{じがくじしゅう} 自学自習しているうちに^{しぼう} 日本画志望になりました。



和高 節二

昭和 4 (1929) 年，^{さい} 31歳の時に第 10 回帝展^{ていてん} に初入選し，その後，帝展，^{ぶんてん} 文展，^{にってん} 日展に合わせて 8 回入選しました。昭和 15 (1940) 年には，^{きげん} 紀元 2600 年奉祝日本画展で最高賞の^{もんぶだいじんしょう} 文部大臣賞を受賞し，全国から大変な注目^{ちゅうもく} を浴びました。

作品は，家族をはじめとする村の人々，牛，^{ねこ} 猫，^{かき} 柿など，身近な山村^{さんそん} の風物をテーマにしたものが多く，中でも牛は「牛の和高」と言われるほど主要なテーマになっています。農家の生まれである和高にとって，牛は農家の宝であるという思いがあり，それが牛をテーマにした作品の多さにつながっています。



^{こつと} 牝牛 縮図掛軸作品 (個人蔵)



平和の里 (徳栄寺蔵)

(5) ^{こだまきぼう}児玉希望 ^{すいぼく ひょうげん}～水墨の表現を追い求めた画家～

【1898～1971 高宮町】



児玉希望

明治31(1898)年、^{くるほら ほらだ}広島県高田郡来原村原田(現・高宮町原田)に生まれました。本名は^{しょうぞう}「省三」といいます。^{ほらだじんじょうしょうがっこう}原田尋常小学校(現・^{よしだじんじょうこうとうしょうがっこう}来原小学校)、^{だいようきょういん}吉田尋常高等小学校を経て、^{ひとはた}代用教員となりましたが、一旗あげようと思
い上京しました。

大正7(1918)年、^{さい}20歳の時に^{かわいぎよくどう}川合玉堂に^{でし}弟子入りし、^{ほんかくてき}本格的に画家としての道を歩み
始めました。大正10(1921)年、「夏の山」^{ていてん}で帝展に^{はつにゆうせん}初入選し、その後、^{ていてん}帝展で2度の

^{とくせん}特選を受賞して、^{じゅしやう}日本を代表する画家になりました。
た。弟子には、^{みよし}三次出身の日本を代表する画家で
ある^{おくだげんそう}奥田元宋がいます。

昭和32(1957)年から丸一年、イタリアを中心
に^{たいざい}ヨーロッパに滞在し、^{せいようびじゅつ}西洋美術の伝統を^{でんとう}肌で感
じながら、^{さいかくにん}日本画の進むべき方向性を再確認しま
した。それは、^{ばんねん}晩年まで続く^{すいぼくひょうげん}水墨表現のさまざま
^{こころ}な試みです。

来原小学校には、^{こだまきぼう}児玉希望の^{こうせき}功績をたたえて
^{きねんひ}記念碑がたてられています。



武者図(簾八幡神社)



鷺

わかったかな？安芸高田の^{ほこ}誇れる人々クイズ

Q 1 へら堀りの池をつくるために使った道具で直径約20cmのザルを何という？

- A 六文テンザル
- B 七文テンザル
- C 八文テンザル

Q 2 ^{ねんぐ}年貢を出せない尾原地区の^{ねんぐ}年貢を坂村全体でかたがわりした状態を何という？

- A 論山かつぎ
- B 尾原つつみ
- C 尾原かづき

Q 3 次のうち、実在しないものはどれ？

- A のどごえ岩
- B のどごえ神社
- C のどごえ公園

Q 4 土生玄碩が医学を学んだ江戸の蘭学医・杉田玄白らがほん訳した「解体新書」のオランダ語の原題は何？

- A サータイヘン・アナトミア
- B ターヘル・アナトミア
- C アキタカタ・アナトミア

Q 5 三上義夫の論文に登場する江戸時代の数学者はだれ？

- A ^{せき たかかず}関 孝和
- B ^{ひらが げんない}平賀 源内
- C ^{はなおか せいしゅう}華岡 青洲

Q 6 刀匠 石橋^{まさくに}正国の住んでいた美土里町の地区はどこ？

- A 南村
- B 北村
- C 東村

Q 7 野に生きた画家と言われる和高節二は、ある動物をテーマにした作品が多いが、その動物は何？

- A うさぎ
- B くま
- C うし

Q 10 日本を代表する児玉希望^{こうせき}の功績をたたえて記念碑^ひが建てられている学校はどこ？

- A 美土里小学校
- B 高宮中学校
- C 来原小学校

みんなわかったかな？お家の人にも教えてあげてね。また、安芸高田市内^{めぐ}を巡って記念碑^ひなどを見てみよう！！





第6章 とともに生きる 協働のまち

みなさんはどのように安芸高田市の自然や文化，伝統，スポーツに親しんでいますか。安芸高田市の魅力を調べてみましょう。



1 自然とともに

安芸高田市の豊かな自然。この自然を守り，親しむ活動にはどのようなものがあるのか，考えてみましょう。



(1) 江の川に親しむ



日本で最も大きな川は，関東平野を流れる利根川です。安芸高田市には，中国地方最大の河川，江の川が流れています。全国でみると，本流の長さは12位です。

「江の川」という名前は，昭和41(1966)年4月に一級河川に指

定されたときに定められました。その前までは，川の流れるそれぞれの地域において，可愛川，郷川，江川など様々な呼ばれ方をしていました。三次市より上流（安芸高田市方面）における江の川の本流は「可愛川」と呼ばれ、「日本書紀」（720年）にも可愛川が記されているそうです。昔から私たちに親しまれた名前です。



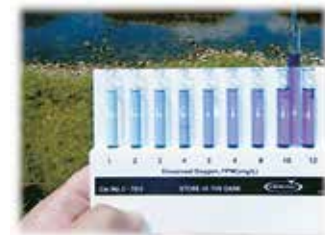
桂水辺の楽校（吉田町）
国土交通省HP

平成16年3月には，吉田町の郷野小学校の近くを流れる江の川に，「桂地区水辺の楽校」が完成しました。川原や水辺の植物，水中の生き物を通じて，誰でも自然に親しめる場所として利用されています。また，地域の人々の憩いの場となっています。

市内の小学校では，江の川（可愛川）やその支流の川の生き物を調査し，その場所の水質を調べています。江の川は，平成16年調査によると中国地方の一級河川では，きれいな川の4位にランキングされています。



水生生物調査（吉田小学校）



(2) 自然に親しむ



郡山城



郡山公園

日本 100 名城が安芸高田市にあることを知っていますか。

日本 100 名城には、国宝の彦根城（滋賀県）や首里城（沖縄県）、江戸城（東京都）、大阪城（大阪府）などがあります。平成 18 年に安芸高田市の郡山城もその一つに選ばれています。郡山城は、安芸国の戦国大名毛利氏の居城でした。県外からも多くの方が訪れています。

郡山公園は、郡山の麓にあり、寺の跡を大正の初め公園にしたものです。春は桜、夏はつつじ、秋は紅葉と史跡と自然を調和した日本式の庭園です。

その他にも、安芸高田市には、誇れる自然がたくさんあります。サクラ、カタクリ、ショウブなど、季節の花々にふれられるところもたくさんあります。行ってみると、新たな発見があるかもしれませんね。



土師ダムの桜(八千代町)



カエデ林(甲田町)



ホタル(高宮町)



花しょうぶ(向原町)

2 伝統とともに

あきたかたかぐら
安芸高田神楽を生かした取組について調べてみましょう。

あきたかたかぐら
安芸高田神楽はどうして長い間受け継がれてきたのかな。!?



(1) 知っておきたい「安芸高田神楽」

かぐら
神楽とは、古くは「神様を楽しませる」神事として行われてきました。現在では催し物や祝い事に欠かせない郷土芸能として、人々に楽しまれています。



(写真／八千代神楽団)

かぐら
安芸高田市の神楽は江戸時代に島根県から伝えられたと考えられています。演劇的で物語性が強く、のびのびとした舞が特徴の安芸高田神楽は、戦後、神楽大会の流行とともに、またたく間に広島県北西部へと伝わり、大きく発展しました。

「神楽」でまちおこし!

～神楽ドーム誕生秘話～

かぐら
美土里町で「神楽でまちおこしをしよう」という声が高まり、賛成反対の議論のすえ、神楽専門の上演施設「神楽ドーム」を建設することになりました。その工事の途中で温泉がわき出したため、計画が大きくふくらんで、平成10(1998)年、神楽ドームと温泉施設が一緒になった「神楽門前湯治村」がオープンしました。



かぐらもんぜんとうじむら
神楽門前湯治村



かぐら
神楽ドーム

安芸高田市神楽団22団体

吉田町	よしだかぐらだん 吉田神楽団 こうえんかぐらだん 高猿神楽団
八千代町	やちよかぐらだん 八千代神楽団
美土里町	よこたかぐらだん 横田神楽団 なかきたかぐらだん 中北神楽団 うえこうちかぐらだん 上河内神楽団 くろだきかぐらだん 黒瀧神楽団 くわたてんしかぐらだん 桑田天使神楽団 てんじんかぐらだん 天神神楽団 あおかぐらだん 青神楽団 きんじょうかぐらだん 錦城神楽団 みほかぐらだん 美穂神楽団 しおせかぐらだん 塩瀬神楽団 しんこうかぐらだん 神幸神楽団 ひろもりかぐらだん 広森神楽団 ひよしかぐらだん 日吉神楽団
高宮町	はらだかぐらだん 原田神楽団 ささべかぐらだん 佐々部神楽団 かじやかぐらだん 梶矢神楽団 はさたけかぐらだん 羽佐竹神楽団 やまねかぐらだん 山根神楽団 くるめがきかぐらだん 来女木神楽団

古くから受け継がれてきた伝統芸能「安芸高田神楽」。この大切な文化を更に発展させ、次の世代へ受け継いでいくために、新しい取組も行われています。

(2) 「安芸高田神楽」を生かした取組

「神楽」のよさを多くの人に広めるための取組を、3つのキーワードでまとめてみましょう。

かぐら ほこ
神楽を誇る

あき たかたかぐら どうきょう
安芸高田神楽 東京へ!



安芸高田市では平成 24(2012)年から神楽の東京公演を行っています。美土里町や高宮町、吉田町の神楽団が公演し、安芸高田神楽の迫力ある舞や軽快な奏楽、きらびやかな衣装など、すばらしい芸術性が高く評価されました。



第1回、第2回、第3回公演の様子

東京公演鑑賞者の話

広島出身だけど神楽を知らなかった。初めて見て驚きました。広島に神楽があることを誇りに思います。

かぐら

神楽をはぐくむ

地域の英雄を神楽に

吉田町の吉田神楽団では創作神楽「元就公」の継承に取り組んでいます。近年ではこうした創作神楽に取り組む神楽団が増え、多くの団が独自性を高めながらそれぞれの神楽をはぐくんでいます。



よしだかぐらだん もとなりこう
吉田神楽団「元就公」

みんなのまちにはどんな伝説や言い伝えがありますか。地域の神楽団の皆さんに協力してもらって創作神楽にまとめてみるといいですね。



かぐら

神楽でつながる

高校生神楽甲子園

全国各地からそれぞれの地域の神楽を受け継ぐ高校生が安芸高田市に集まり舞を發表します。神楽は仲間とのつながりを生み、文化のつながりを生み、次の世代へとつながっていくのです。



高校生神楽甲子園の様子



安芸高田神楽は、さまざまな取組の中で市民の誇りとして次の世代に受け継がれていくんだね。



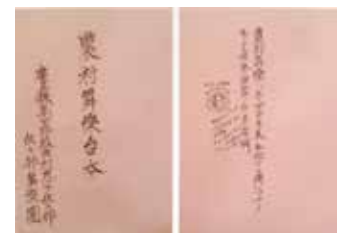
(3) 佐々木順三 ～安芸高田神楽の父～【1908～2006 美土里町】

安芸高田をはじめ、芸北地方を中心に伝えられてきた神楽は、もともとは「神を崇め、迎える」ことを目的とした神前行事で、現在のような華やかなものとは違いました。第二次世界大戦後、「神を崇め、迎える」神楽は、「国家神道」につながる芸能と判断され、「農村舞楽」と呼び名を変えます。そして上演のたびに、連合軍総司令部（GHQ）の厳しい審査を受けなければならなくなりました。これまで通りの神楽が上演しにくくなり、神楽の上演そのものが次々と取りやめになっていく中、この危機を救ったのが佐々木順三でした。美土里町本郷に生まれた順三は、各地の小学校や中学校に教師として勤務するかたわら、郷土芸能の保存・伝承に力を尽くしました。戦後、「芸北神楽台本集」を出版し、「新作高田舞」といわれる創作神楽を発表します。これは、古い神楽のような「神を崇める」内容ではなく、善と悪がはっきりした演劇的なものでした。わかりやすく親しみやすい順三の演目は、神楽大会の流行とともに、神楽の上演をさしひかえてきた芸北地方各地へ急激に広まりました。

こうして広島島の神楽は再び輝きを取り戻したばかりでなく、それまで神楽に関心のなかった人々にも神楽を知ってもらうきっかけになったのです。その後順三は旧美土里町の要職をつとめ、98歳で亡くなるまで安芸高田神楽の発展に貢献しました。



佐々木順三



農村舞楽台本と GHQ による上演許可印
神楽門前湯治村提供



佐々木順三 顕彰碑
編集委員撮影

- 佐々木順三の演目
- 「新作岩戸開き」
 - 「天神記」
 - 「土蜘蛛」
 - 「子持山姥」
 - 「戻橋・前後編」
 - 「新大江山」
 - 「玉藻前・前後終編」
 - 「鈴鹿山」
 - 「衣川」
 - 「大化改新」
 - 「滝夜叉姫」
 - 「伊吹山」
 - 「新熊襲征伐」
 - 「壇ノ浦」
 - 「源三位頼政」
 - 「新八岐大蛇」
 - 「新安達原」
 - 「鶴岡八幡宮」
 - 「新作山の大王」
 - 「など」



3 スポーツとともに

安芸高田市には大きなスポーツチームが2つ
あるよ。知っているかな？



(1) サンフレッチェ広島

広島には、広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープの3つのプロ組織があります。その一つ、サンフレッチェ広島は、平成5(1993)年の日本プロサッカーリーグ誕生から続くプロサッカーチームで、吉田サッカー公園を練習拠点にしています。平成24(2012)年には、念願の1部リーグ初優勝を果たしました。また、平成25(2013)年にも、1部リーグで優勝し、連覇を達成しました。サンフレッチェ広島は「サッカーを通じて夢と感動を共有し、地域に貢献する」ことをめざして、活動しています。

「サンフレッチェ」は、日本語の「三」とイタリア語の「フレッチェ(矢)」をあわせて作られた言葉で「三本の矢」を意味しています。このチーム名は、吉田出身の戦国武将毛利元就による「三矢の訓」の言い伝えから名づけられました。「県民・行政・財界」の三位一体の力によって支えられていることを示し、またチームスポーツの基本である「技術・戦術・体力」の三要素、そして一人一人の選手に必要なとされる「心・技・体」の三原則にもつながっています。



安芸高田市スポンサードゲームでは多くの市民が応援にかけつけています。

(2) わくながせいやく湧永製薬ハンドボール部「レオリック」

「レオリック」は昭和44(1969)年創部の湧永製薬のハンドボール部で、甲田町を本拠地として活動しています。これまで、全日本総合選手権で7連覇達成など、輝かしい実績を残しています。また、日本ハンドボール界の代表的存在で、幾人もの日本代表選手を輩出する強豪チームです。

地域とのつながり

「レオリック」は昭和53(1978)年から、小学校でハンドボール教室も開催しています。「ハンドボールを通じて、夢中になれることを見つけしてほしい」「一生懸命練習をすれば、今日できなかったことが明日はできるようになる、人間やればできる、という努力することの大切さを学んでほしい」「仲間とともに力を合わせることで、チームプレーのすばらしさを味わってほしい」という願いをもって、行われています。この教室では技術だけでなく「周囲の大人や仲間にきちんとあいさつをする」「練習後は、自分たちですみずみまでそうじをする」といった礼儀作法も指導し、人として大切なことを伝えようとしています。



ハンドボール教室



ハンドボールの試合の様子 湧永製薬提供

4 芸術とともに

■安芸高田市芸術農園四季の里八千代の丘美術館

西日本でも珍しい芸術と農業をテーマにした施設です。

地域は宝箱。どんなことがあるかな。



安芸高田市芸術農園

明るいガラス張りのハウスは、温度管理を自動で行っています。季節に応じて、いちご狩りやぶどう狩りが楽しめます。自然をたっぷり体験した後は、アトリエ形式の隣の美術館でゆったりと芸術鑑賞をすることができます。



ぶどう畑

八千代の丘美術館

八千代の丘美術館は、平成13（2001）年に開館しました。小高い丘の上に建つ、四季折々に自然と芸術が楽しめる美術館です。「1棟に一人の作家の個性が輝く芸術と作家に逢える美術館」という名のように、展示ギャラリーは、15棟の独立したギャラリーとなっています。



展示ギャラリー

芸術文化の発信として多くの芸術分野から広島県在住の作家が一年間入館し、テーマに基づいて3回の展示替えを行っています。

また、幅広いジャンルの展示会や作家による創作講座や講演会、あるいはコンサートなどのイベントも開かれます。

【出張授業】

入館作家が、安芸高田市内の小中学校へ絵画指導などの出張授業を行っています。いつもとは少し違った雰囲気です。美術を楽しめます。



【安芸高田市児童・生徒自画像展】

安芸高田市内の児童・生徒を対象にした、自画像コンクールです。入賞・入選作品は、企画展示室などに展示されます。



【ワークショップ】

より多くの方が、美術館と美術作品に親しめるように、入館作家による様々な講座やワークショップがあります。



【夏休み子ども教室】

夏休みの期間中に安芸高田市内の小・中学生を対象とした美術講座が開かれます。指導作家の作品の解説や技法などの学習もできます。



(八千代の丘美術館パンフレット)

いろいろ工夫した会を企画することで、地域を元気づけているね。



5 これからの安芸高田市



これから安芸高田市はどんなまちをめざしていくのかな。

< 将来像 >

人がつながる でんえんとし 田園都市 安芸高田

■人がつながる

- 地域の自然や環境との“つながり”
- 地域の歴史・生活文化との“つながり”
- 地域に暮らす多様な人との“つながり”

■でんえんとし 田園都市

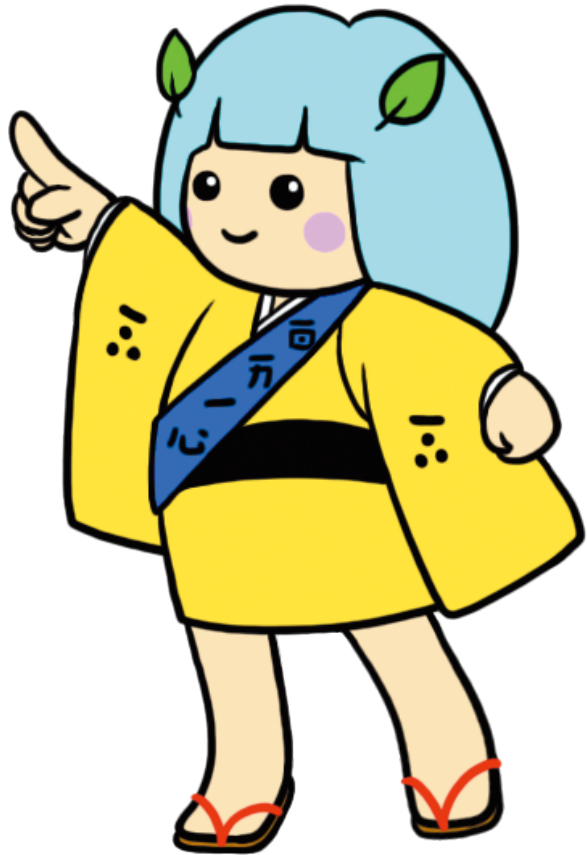
でんえん 田園と山並みの豊かな緑、せいりゅう 清流に囲まれた歴史と伝統のあ
る落ち着いた暮らしをしながら、としてきみりよく 都市的の魅力と田園の安らぎが共
生した快適でうるおいのある生活空間や、「安心」と「ゆとり」
を備えた住みやすさ、たよう 多様な働く場が確保されたまちを目指
しています。

■ちょうせん 3つの挑戦

- 人が集い育つまちづくりへの挑戦ちょうせん
- 安心して暮らせるまちづくりへの挑戦ちょうせん
- 地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦しげん ちょうせん

資料

資料を使って
くわ
詳しく調べてみ
よう!





こんにちは！たかたんです！

この本の案内役・たかたんは、平成25年12月から、安芸高田市の公式マスコットキャラクターをつとめています。ここでは「たかたん」について調べてみましょう。

緑色の頭は、安芸高田市の山を表しています。

安芸高田市の里山を見守る童子（鬼の子ども）です。安芸高田市のこと、たくさん知りたいな！

戦国大名「毛利元就」の訓えにしたがい、背中に三本の矢を背っています。

安芸高田市を流れる江の川や太田川の源流。青いたすきは豊かな川の流を表しています。

歴史と文化と自然いっぱいの安芸高田市が大好き！みんなといっしょに勉強したいな。



- 性格：のんびり屋
- 好きな食べ物：縄文アイス・川根の柚子
- 好きな飲み物：三矢えびす
- 好きなスポーツ：サッカー・ハンドボール
- 特技：たかたんターン
- 趣味：ハイタッチ・史跡探索・神楽鑑賞



たかたんは、安芸高田市のよさをたくさんの人々に知ってもらうためにいろいろなところで活やくしています。この本の案内役も、進んで引き受けてくれました。みんなもたかたんのように、将来いろいろなところで安芸高田市のよさを紹介できる人になれるといいですね。

安芸高田市の文化財一覧

○指定文化財（文化財保護法による分類）

- ◆有形文化財…建造物・絵画・彫刻・工芸品・書籍・典籍・古文書
その他有形の文化的所産で、歴史上または芸術上価値の高いもの、及び考古資料
- ◆無形文化財…演劇・音楽・工芸技術その他の無形の文化的所産で、歴史上または芸術上価値の高いもの
- ◆民俗文化財…衣食住・生業・信仰・年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服・器具・家屋その他の物件で、生活の推移の理解のため欠くことのできないもの
- ◆文化的景観…地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの
- ◆記念物…歴史上または学術上価値の高い遺跡等（史跡）、芸術上または鑑賞上価値の高い名勝地（名勝）、学術上価値の高い動物・植物・地質鉱物（それらの存する地域を含む）（天然記念物）
- ◆伝統的建造物群…周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統建造物群で価値の高いもの

すこしむずかしいけど、文化財にもいろいろ種類があるよ。



■ 国指定文化財

区 分	指定年月日	名 称	所在地
重要無形民俗文化財	平成9年12月15日	安芸のはやし田	高宮町原田
史跡	昭和15年8月30日	毛利氏城跡（郡山城跡、多治比猿掛城跡）	吉田町吉田，多治比
天然記念物	昭和36年5月6日	船佐・山内逆断層帯	高宮町佐々部

■ 安芸高田市内の指定文化財件数（県・市）

区分	有形文化財	無形文化財	民俗文化財		記念物			計
	重要文化財		有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	
県指定文化財	8			16	6		7	37
市指定文化財	48		6	17	68	2	25	166
計	56		6	33	74	2	32	203



■ 県指定文化財

区 分	指定年月日	指定名称	所在地
重要文化財	昭和28年8月11日	銅鐘	吉田町吉田
	昭和28年10月20日	銅鐘	甲田町高田原
	昭和48年5月30日	児玉家住宅	甲田町浅塚
	昭和50年9月19日	清神社棟札 附 在銘連子窓断片 1 枚	吉田町吉田
	平成3年12月12日	佐々井厳島神社 本殿内玉殿 附 鳥居社額 1 枚 棟札 1 枚	八千代町佐々井
	平成3年12月12日	常盤神社 本殿内玉殿	八千代町勝田
	平成2年12月25日	一ツ町古墳出土亀形須恵器	向原町戸島
	平成10年9月21日	木造千手観音菩薩立像	吉田町吉田
無形民俗文化財	昭和29年4月23日	神楽一神迎え一（青神楽）	美土里町生田
	昭和29年4月23日	神楽一神降し一（桑田神楽）	美土里町桑田
	昭和29年4月23日	神楽「鍾馗」（梶矢神楽）	高宮町川根
	昭和29年4月23日	神楽「剣舞」（山根神楽）	高宮町川根
	昭和48年12月18日	生田のはやし田	美土里町生田
	昭和48年12月18日	本郷のはやし田	美土里町本郷
	昭和48年12月18日	桑田のはやし田	美土里町桑田
	昭和52年9月14日	生田の花笠おどり	美土里町生田
	昭和54年3月26日	津間八幡神楽	美土里町本郷
	昭和54年3月26日	西尾山八幡神楽	美土里町北
	昭和54年3月26日	川角山八幡神楽	美土里町生田
	昭和54年3月26日	佐々部神楽	高宮町佐々部
	昭和54年3月26日	羽佐竹神楽	高宮町羽佐竹
	昭和54年3月26日	原田神楽	高宮町原田
	昭和57年2月23日	来女木神楽	高宮町来女木
平成7年1月23日	本郷獅子舞	美土里町本郷	
史跡	昭和15年11月10日	毛利元就誕生伝説地（鈴尾城跡）	吉田町福原
	昭和46年4月30日	五龍城跡	甲田町上甲立
	平成19年4月19日	松尾城跡	美土里町横田
	昭和48年3月28日	土師大迫古墳	八千代町土師
	昭和56年4月17日	山部大塚古墳	吉田町山部
	平成2年12月25日	戸島大塚古墳	向原町戸島
天然記念物	昭和46年12月23日	原田のエノキ	高宮町原田
	昭和46年12月23日	佐々部のカキノキ	高宮町佐々部
	昭和51年6月29日	出店権現のウラジロガシ	美土里町生田
	昭和53年10月4日	唯称庵跡のカエデ林	甲田町上甲立
	昭和54年3月26日	原田のヤマナシ	高宮町原田
	昭和54年11月2日	土師のチュウゴクボダイジュ	八千代町土師
	昭和54年11月2日	穴戸神社の社叢	甲田町上甲立

■市指定文化財①

区分	指定名称	所在地	区分	指定名称	所在地
重要文化財	茶室（三菱窟）	吉田町竹原	重要文化財	佐山出土の壺	向原町坂
	理窓院楼門	甲田町下甲立		家業考	吉田町多治比
	高林坊	甲田町高田原		頼山陽筆吉田駅詩	吉田町吉田
	西尾山八幡神社本殿	美土里町北		中之山神社の経文	高宮町船木
	万福寺山門	高宮町羽佐竹		円光寺所蔵の一切経	向原町坂
	つばくろ岩の火の宮さん	向原町保垣	有形民俗文化財	中之山神社の幕	高宮町船木
	高頭八幡神社社殿	向原町有留		中之山神社の幟	高宮町船木
	琴比良神社社殿	向原町坂		山（大仙）神社の幟	高宮町佐々部
	日高山神社玉殿	八千代町土師		水谷権現の幕	高宮町船木
	亀山神社玉殿	八千代町下根		日吉神社の幟	高宮町来女木
	日高山神社本殿	八千代町土師		姫滝山神社の幟	高宮町川根
	法成寺の鐘楼	向原町保垣		無形民俗文化財	だんじり屋台
	観農亭と象圓池	向原町坂	宇佐神社神儀		吉田町多治比
	中之山神社本殿	高宮町船木	埃ノ宮神社神儀		吉田町川本 山手、下中馬
	清神社本殿	吉田町吉田	男山神社獅子舞		吉田町多治比
	絵馬額一面	吉田町相合	獅子頭神社神儀		吉田町上入江下入江
	正善寺の絵像	向原町戸島	八千代神楽		八千代町
	毛利元就画像	吉田町多治比	野部観音の安産祈願習俗		高宮町佐々部
	伝親鸞聖人自作座像	吉田町吉田	大土山田楽		甲田町下小原
	薬師如来坐像	高宮町川根	春日神社の神儀		甲田町高田原
	後鳥羽上皇坐像	高宮町佐々部	中北のはやし田		美土里町北
	真徳寺木造阿弥陀如来坐像	向原町長田	横田の獅子舞		美土里町横田
	獅子頭	吉田町多治比	鳴石山神社神儀		向原町戸島
	華叟亭の額	甲田町上甲立	国貞山神社神儀		向原町坂
	元亀の面	吉田町吉田	川根の楽打		高宮町川根
	茶釜（かんす）	吉田町多治比	亀尾山神社の御座船神事		高宮町川根
	社額	吉田町吉田	川根のはやし田		高宮町川根
	中山神社大太鼓	吉田町桂	佐々部のはやし田		高宮町佐々部
	絵馬「猿駒曳図」	高宮町来女木	史跡	中馬古墳群	吉田町中馬
	絵馬「武者図」	高宮町原田		権現2号古墳	八千代町土師
	絵馬「白鷹図」	高宮町原田		四郎迫1号古墳	八千代町土師
	絵馬「神馬図」	高宮町来女木		四郎迫2号古墳	八千代町土師
	金屋子神社の銚神像	美土里町生田		土師大迫2号古墳	八千代町土師
	養康寺薬師朱塗猫足膳	向原町長田		土師大迫3号古墳	八千代町土師
	方格規矩四神鏡	甲田町上甲立		千川古墳	吉田町多治比
	願船寺の喚鐘	向原町坂		於手保古墳	吉田町多治比
	鳴石山神社の獅子頭	向原町戸島		是光1号古墳	美土里町生田
	線刻十一面観音鏡像	高宮町川根		後原第2号古墳	高宮町羽佐竹
	古信楽焼花瓶一対	吉田町吉田		房後白鳥古墳	高宮町房後
	絵馬「歌仙図」	高宮町川根		塚が原古墳群	美土里町本郷
	絵馬「布袋・唐子図」	高宮町川根		外輪6号古墳	美土里町横田
正敷殿火炎文瓦	向原町長田	桂城跡		吉田町桂	
墨書土器	甲田町下小原（出土）	甲立古墳		甲田町上甲立	

■市指定文化財②

区分	指定名称	所在地	区分	指定名称	所在地
史跡	岩屋城址	甲田町深瀬	史跡	千日風呂伝説地	向原町坂
	釜ヶ城址	甲田町下小原		新溝と論山堤	向原町坂
	長見山城址	甲田町下小原		坂の六地藏	向原町坂
	塩屋城址	甲田町上小原		旧円明寺跡	向原町長田
	清源城址	甲田町下小原		青木の防壕	美土里町横田
	田屋城跡	八千代町土師		窯跡	美土里町横田
	阿賀城跡	八千代町下根		岩屋嶽	美土里町北
	吹屋（矢）城跡	高宮町川根		下北古墓（伝大磯虎の墓）	美土里町北
	仁後城跡	高宮町船木		名勝	滄浪園
	面山城跡	高宮町佐々部	慶長の庭		甲田町高田原
	猪掛城跡	高宮町原田	天然記念物	吉田のラクウショウ	吉田町内3ヶ所
	日下津城跡	向原町坂		清神社のスギ	吉田町吉田
	田屋城跡	向原町長田		福泉坊の大イチョウ	吉田町吉田
	古吹城跡	向原町有留		多治比のタラヨウ	吉田町多治比
	青光井山尼子陣所跡	吉田町常友相合		吉田のカキノキ	吉田町吉田
	清神社	吉田町吉田		下土師のマキノキ	八千代町土師
	宮崎神社	吉田町相合		向山のシャクナゲ	八千代町向山
	福原氏墓所	吉田町福原		日吉神社社叢	美土里町北
	犬飼平古戦場	甲田町深瀬		横田八幡神社のツガ	美土里町横田
	宍戸元家の墓	甲田町深瀬		船木のモミ	高宮町船木
	宍戸元源の墓	甲田町上甲立		専念寺のサルスベリ	八千代町勝田
	宍戸隆家夫妻の墓	甲田町上甲立		有留のシャクナゲ群落	向原町有留
	深瀬隆兼の墓	甲田町深瀬		国貞山神社社叢	向原町坂
	深瀬家良の墓	甲田町深瀬		石上神社のシラカシ	高宮町羽佐竹
	末兼隆忠夫妻の墓	甲田町下甲立		坂のカタクリ群落	向原町坂
	司箭神社	甲田町上甲立		長田のカタクリ群落	向原町長田
	渡辺七人塚	甲田町下小原		佐々部のカヤ	高宮町佐々部
	池之内古戦場 （尼子古戦場）	甲田町上小原		佐々部のクスノキ	高宮町佐々部
	千貫水	甲田町上甲立		青薬師神社のウラジロガシ	美土里町生田
	深瀬家兼の墓	甲田町深瀬		犬伏山アセビの群落	美土里町生田
	腹切岩	甲田町上小原	甲立礫層	甲田町下甲立	
	国司氏墓所	吉田町国司	上根河床礫層	八千代町上根	
	吉田与三郎墓	吉田町吉田	堂道の滝	向原町有留	
	天正の石仏	吉田町中馬	戸島の分水界泣き別れ	向原町戸島	
	土生氏墓	吉田町吉田	大澤田湿原	美土里町生田	
	西本屋武一郎の墓	八千代町勝田			
	自休堂	八千代町佐々井			
	杉の原遺跡	高宮町川根			
	照林坊跡	高宮町船木			
	毛利隆元逝去の地	高宮町佐々部			
	柘植家の墓地	高宮町川根			
	大迫遺跡	八千代町土師			
	高大地湊跡	向原町長田			
滝の観音	向原町戸島				
尼子三兄弟ゆかりの墓	向原町長田				

統計からみた安芸高田市のすがた

出典：「統計でみる市区町村のすがた 2014」（総務省統計局）

区分	項目	単位	数値	調査時	調査資料
面積	面積	km2	537.79		建設省国土地理院
人口	人口	人	31,487	平成22年	国勢調査
	男性		14,993		
	女性		16,494		
	15歳未満		3,532		
	15歳～64歳		16,887		
	65歳以上		11,068		
	世帯数		戸		
	人口密度	人/km2	58.5		
労働	15歳以上就業者数	人	15,721	平成22年	国勢調査
	第1次産業就業者数		2,514		
	第2次産業就業者数		4,295		
	第3次産業就業者数		8,852		
事業所	事業所数	事業所	1,483	平成21年	経済センサス
	従業者数	人	13,265		
農業	農家数	戸	4,032	平成22年	世界農林業センサス
	販売農家数		2,872		
	自給的農家数		1,160		
	農家人口（販売農家）15歳以上	人	8,593		
	農業就業人口（販売農家）		7,135		
	経営耕地総面積（販売農家）	a	286,156		
	田（経営耕地面積）		257,180		
	畑（経営耕地面積）		26,402		
樹園地（経営耕地面積）		2,574			
林業	耕地面積	ha	4,410		中国四国農政局 「広島農林水産統計年報」
	林野面積	ha	42,795		広島農林水産統計年報
林野率	%	80			
工業	事業所数	事業所	99	平成22年	工業統計調査
	従業者数	人	3,017		
	製造品出荷額等	百万円	81,750		
	製造品出荷額等/従業者一人	百万円	23.4		
水道	水道普及率（上水・簡易）	%	75.26	平成26年	安芸高田市上下水道課
	下水道普及率（公共・集排・合併槽）	%	74.3		
運輸 通信	自動車保有台数	台	12,757	平成25年	広島県統計年鑑
	乗用車保有台数		9,806		
	高速自動車国道実延長	km	15.8	平成20年	西日本高速道路株式会社 国土交通省・広島県
	一般国道実延長		53.5		
	一般国道改良率	%	96.4	広島県土木局西部建設事務所	
	一般国道舗装率	%	100		
	都道府県道実延長	m	211226		
	都道府県道改良率	%	79.3		
	都道府県道舗装率	%	98.7		
	市町村道実延長	m	806,526		
	市町村道改良率	%	58		
	市町村道舗装延長	m	728,476		
市町村道舗装率	%	90.5			



区分	項目	単位	数値	調査時	調査資料
医療衛生	医師数	人	68	平成24年	厚生労働省・広島県
	歯科医師数		21		
	薬剤師数		98		
	就業看護師数		311		
	病院数	施設	2	平成25年	広島県
	診療所数		30		
	歯科診療所数		18		
	病院病床数	床	851		
	診療所病床数		77		
経済	市町村内総生産	百万円	109,333	平成22年	広島県市町民経済計算結果報告
財政	普通会計歳出総額	千円	22,187,595	平成25年度	市町村普通会計決算カード
	市町村民税収入額		1,385,005		
教育	小学校数	校	13	平成25年	学校基本調査
	小学校児童数	人	1,458		
	中学校数	校	6		
	中学校生徒数	人	689		
	高等学校数	校	2		
	高校生徒数	人	601		
選挙	選挙人名簿登録者数	人	25,721	平成26.3.2	定時登録資料
安全	火災発生件数	件	32	平成25年分	安芸高田市消防本部
	交通事故(人身事故のみ)発生件数		141		安芸高田警察署
	交通事故死者数	人	5		
公共施設	市役所支所	箇所	5	平成24年	公共施設状況調査
	保育所		11		
	保健センター		5		
	児童館		3		
	隣保館		5		
	公会堂・市民会館・公民館		6		
	図書館		6		
	野球場		7		
	プール		5		
	集会施設		68		



副読本監修委員

- 永井 初男 (安芸高田市教育委員会 教育長)
川上 貴志 (広島県西部教育事務所芸北支所 指導主事)
重藤 剛介 (安芸高田市文化財保護審議会 会長)
中村 計助 (安芸高田市歴史民俗博物館 館長)
津田 泰成 (安芸高田市小学校校長会 代表)
大下 邦彦 (安芸高田市中学校校長会 代表)

副読本編集委員

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 新宅 敦彦 (美土里小学校 教頭) | 山岡 澄雄 (向原中学校 教頭) |
| 西廣 直明 (向原小学校 教諭) | 竹内 公彦 (吉田中学校 教諭) |
| 崎田 朋子 (刈田小学校 教諭) | 丸山 博章 (八千代中学校 教諭) |
| 加納 紀彦 (小田東小学校 教諭) | 向井 徹 (美土里中学校 教諭) |
| 立川 智子 (可愛小学校 教諭) | 馬庭 大輔 (高宮中学校 教諭) |
| 山内 健 (来原小学校 教諭) | 新谷 竜治 (甲田中学校 教諭) |

副読本イラスト・地図編集

西廣 昭子 角田 優子

副読本編集事務局

安芸高田市教育委員会学校教育課・生涯学習課

(所属・役職は、平成26年4月現在)

発行 安芸高田市教育委員会
〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田761
電話 0826-42-5628 FAX 0826-42-4396
URL <http://www.akitakata.jp>

